
*

*

*

*

*

令和 4 年 度

*

*

*

*

事 業 報 告 書

*

*

*

*

*

*

目 次

社会福祉法人 狛江福祉会	1 ページ
特別養護老人ホーム こまえ苑	11 ページ
高齢者デイサービスセンター こまえ苑 ..	23 ページ
地域包括支援センター こまえ苑	41 ページ
居宅介護支援事業所 こまえ苑	46 ページ

*

*

*

*

*

社会福祉法人 狛江福祉会

*

*

*

*

*

*



こまえ苑

*

*

1. 総括

(はじめに)

新型コロナウイルスの感染防止対策は、令和4年度も徹底し継続してまいりましたが、令和5年1月から2月にかけて特養でクラスターを発生させてしまいました。令和5年5月8日から新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同様の5類へ移行し、感染防止対策が大きく緩和されていく状況にあります。産業医から助言をいただき再度このような事態とならないように安心安全な運営に努めてまいります。

令和4年度も新型コロナウイルスの感染により様々なところに影響がありましたが、両立支援等助成金（小学校休業等対応コース）による賃金補償、感染対策補助金による抗原検査キット購入、サービス提供体制確保補助金によるクラスター発生時の掛かり増し経費、燃料費・物価高騰対策支援補助金などの補助金等を活用し、収益悪化を最小限に留めることができました。なお、光熱費については、削減に努めてまいりましたが、資源価格の高騰により上昇となりました。

施設の設備更新では、2階フロア床の張替えを実施し、3階フロア床については令和5年度に実施する予定です。また、1階と地下の女性共用トイレを和式から洋式化しました。なお、地下非常用発電設備の屋上移設工事は高齢者施設等防災減災対策推進事業補助金（水害対策強化事業）が不採択となったため実施を見送りました。

各事業の稼働率については、特養は96.5%と前年度比1.0ポイントの減、ショートステイはコロナの影響が大きく88.4%と前年度比3.7ポイントの減、デイサービスについては、三事業のうち通所介護は70.8%と前年度比で4.2ポイント上回りましたが、日常生活支援総合事業と認知症対応型通所介護は前年を下回る結果となりました。

稼働率については現状に満足することなく、特養、デイサービス共に引き上げられるように努めてまいります。

居宅介護支援事業については、目標の一人あたり平均担当件数35件には届かず平均31.19件となりましたが、これは職員の増員によるもので担当件数は順調に伸びています。ホームヘルプ事業については、認定ヘルパー3人が新規登録され、ヘルパー定例会の再開によりヘルパー同士の繋がりも戻っています。地域包括支援センター事業については、介護報酬が前年度比で約28万4千円の減となりましたが、委託費で約593万円の増となりました。

新たな取組としては、特養に東京都の次世代介護機器導入支援事業補助金並びに見守り支援機器及び通信環境の一体的整備事業補助金を活用し、施設全体にWi-Fiを開通させ、見守り支援機器を導入しました。これにより職員の労務負担軽減に繋げることができました。

また、令和5年3月駒井町にオープンした多世代・多機能型交流拠点ふらっとなんぶに職員を配置し、高齢の方の相談や訪問に対応できるようにしました。

人材の確保では、定年退職者はこれまでの知識と経験を活かし再雇用することで業務の継続性を確保し、また、令和5年4月に新卒の介護職員2人を採用することができ、職員の新陳代謝が図られました。研修については、職員個々が研修計画を立て、リモートによる研修のほかコロナ前のように対面が可能なものは対面での研修に参加することができました。資格取得については、自主研修制度により介護福祉士を1人が取得、介護職員実務者研修を1人、介護職員初任者研修を4人が修了しています。

休止、縮小していた事業については、新型コロナウイルスが5類へ移行し、ようやくコロナ前の社会生活に戻していく状況が見え、利用者、ご家族、地域の方々もこまえ苑での事業を楽しみにされていますので、感染状況を見極め、安心して再開できるように取り組んでまいります。今後も安定的な事業運営を継続していけるよう、職員一同が課題にチャレンジする意識をもち、喜ばれ、選ばれ、信頼される施設を目指し良質な介護サービスの提供に努めてまいります。

2. 理事会・評議員会の開催状況

理事会・評議員会の開催年月日、議題等は次のとおり。

開催年月日		議 題 ・ 報 告 事 項 等
第一回 理事会	令和4年 6月7日 火曜日	(1) 報告事項 なし (2) 議 案 議案第1号 令和3年度事業報告について 同第2号 令和3年度財務報告について 同第3号 社会福祉法人狛江福祉会定時評議員会の招集事項の決定について 同第4号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑個人情報保護規程全部改正について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第一回 評議員会	令和4年 6月27日 月曜日	(1) 報告事項 報告第1号 令和3年度事業報告について (2) 議 案 議案第1号 令和3年度財務報告について (3) 協議事項 ① 次回評議員会の開催日程について (4) その他
第二回 理事会	令和4年 10月27日 木曜日	(1) 報告事項 報告第1号 各事業上半期利用状況について (2) 議 案 議案第5号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑育児・介護休業等に関する規則全部改正(案)について 同第6号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第7号 指定通所介護事業所、指定認知症対応型通所介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準通所型サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第8号 指定訪問介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準訪問サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第9号 理事長専決事項の規定外金額の専決契約について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他

<p>第 三 回 理 事 会</p>	<p>令和5年 1月26日 木曜日</p>	<p>(1) 報告事項 報告第2号 監事監査の結果について 同第3号 議案第9号理事長専決事項の規定外金額の専決契約について</p> <p>(2) 議案 議案第10号 令和5年度の主要な業務契約について 同第11号 令和4年度見守り支援機器整備事業に関する契約について 同第12号 施設・設備整備等積立金の一部取り崩し及び積み立てについて 同第13号 令和4年度補正予算(第1号)について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
<p>第 四 回 理 事 会</p>	<p>令和4年 3月30日 木曜日</p>	<p>(1) 報告事項 なし</p> <p>(2) 議案 議案第14号 施設長及び事務局長の交代について 同第15号 令和4年度予算について 同第16号 令和5年度事業計画について 同第17号 令和5年度予算について 同第18号 施設・設備整備等積立金の一部取り崩しについて</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>

3. 共通部門

(1) 職員の配置状況

令和5年3月31日現在

職 種 \ 施 設	特別養護 老人ホーム	高齢者デイ サービスセンター	地域包括 支援センター	居宅介護 支援事業所	計
施 設 長	1				1
副 苑 長					
事 務 員	3 (1)	(1)	(1)		3 (3)
生 活 相 談 員	1 (1)	2 2 (兼務再掲)			3 (1) 2 (兼務再掲)
介 護 職 員	26(16)	8 (9)			34(25)
保 健 師			1		1
看 護 職 員	3 (2)	(4)	2		5 (6)
管 理 栄 養 士	1				1
主任介護支援専門員			1	2	3
介護支援専門員	(1)(兼務再掲)		1 (2)	2 (2)	3 (4)
社 会 福 祉 士			1		1
精神保健福祉士			1		1
機能訓練指導員	1				1
サービス提供責任者		3			3
ヘルパー		(23)			(23)
運 転 手		(6)			(6)
医 師	(3)				(3)
居 室 整 備	(2)				(2)
調 理 員	委 託				
計	36(25)	13(43)	7 (3)	4 (2)	60(73)

注：() 内は非正規職員の別掲。

(2) 正規職員採用・退職状況

<特別養護老人ホーム>

採 用

職 種 \ 年 月 日	令和4年		計	摘 要
	4/1	7/1		
介護職員	2	1	3	
計	2	1	3	

退職

職種	年月日	令和4年		令和5年	計	摘要
		9/12	1/31	3/31		
事務員				1	1	定年
介護職員		1	1		2	自己都合
計		1	1	1	3	

<高齢者デイサービスセンター>

採用 該当なし

退職

職種	年月日	令和4年		計	摘要
		3/31			
介護職員		1		1	定年
計		1		1	

<地域包括支援センター・居宅介護支援事業所>

採用 該当なし

退職

職種	年月日	令和4年		計	摘要
		3/31			
介護支援専門員		1		1	定年
計		1		1	

(3) 職員研修実施状況

1) 施設外研修

①東京都及び関係機関主催

名称等	開催日程	人数
東京都認知症介護実践者研修 (第1・2・3・4回)	4月(6日間)	1
東京都認知症介護実践者研修 (第15・16回)	10月(6日間)	1
初めて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修	5月～(1日間) 12月～(1日間)	2
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理職員研修	5/19、20	1
生活支援コーディネーター初任者研修	6月	1
東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施の為の研修	6月～7月	6
生産性向上セミナー ～よりよい介護現場のために業務改善で できること～	8月～11月	1
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	9月～11月	2
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	8月～11月	2
東京都地域包括支援センター職員研修 (初任者研修)	7月(2日間)	1
区市町村職員等高齢者権利擁護研修「擁護者による高齢者虐待 対応研修 (基礎研修・第2回)」	9月(3日間)	1
高齢者虐待における家族の関係性に焦点をあてた支援と介入	10月～11月	1

東京都入退院時連携強化研修	10/21、27	1
よりよい介護現場のために業務改善でできること	9月～11月	1
人材育成セミナー 新人職員向け・生産性に向けた人材育成・リーダー向け	9月～11月	7
権利擁護テーマ別実践研修第3回「セルフネグレクトへの支援」	10/5	1
擁護者による高齢者虐待対応研修（応用研修A）	10/19、20	1
擁護者による高齢者虐待対応研修（応用研修B）	3/2、3	1
東京都キャラバンメイト養成研修	10月	1
東京都在宅療養支援窓口取組推進研修	12/14	1

②東京都社会福祉協議会関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
令和4年度後期 接遇講習会（ZOOM）中堅職員向け	9/28	1
パソコン講習会 Excel/WORD e-ラーニング	10月～	1
社会福祉法人にとってのインボイス制度・電子帳簿保存法	9月	1

③各種研修会等

名 称 等	開催日程	人数
サービス提供責任者の業務負担を軽減する取組み	4/14	1
区市町村介護予防事業担当者向け研修【総論編】 区市町村介護予防事業担当者向け研修【実践編Ⅱ第1・2・6回】	7月	1
精神保健福祉基礎研修1・2	6月	1
精神保健福祉に関する法律相談	6月	1
介護のための在宅歯科医療研修会	7月	1
精神保健福祉研修（前期）【大人の発達障害・アウトリーチ支援研修・相談・支援力向上研修】	7月～8月	1
東京都介護支援専門員専門研修（第Ⅱ期）	8月（8日間）	1
認定証地域支援推進員研修1 新任者研修	9/13、14	1
地域づくり加速化事業全国研修 各論2-11「住民相互による移動支援」	2月～3月	1

④施設内研修

事業別に実施のため、各事業において記載。

(4) 防災関係

消防署の指導による消防訓練を下記のとおり実施した。

回数	年 月 日	訓 練 内 容
1	令和4年4月27日	部分訓練、特養 消火器・消火栓操作訓練
2	令和4年5月25日	部分訓練、宿直に対する機器取扱い訓練
3	令和4年6月22日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
4	令和4年7月27日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
5	令和4年8月24日	部分訓練、自衛消防訓練審査会自主訓練
6	令和4年9月28日	部分訓練、火災時の宿直に対する夜間通報訓練
7	令和4年10月26日	消火訓練、岩戸町会合同震災訓練実施
8	令和4年11月30日	部分訓練、特養に対する夜間通報訓練
9	令和4年12月21日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
10	令和5年1月25日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
11	令和5年2月22日	部分訓練、特養 消火器・消火栓操作訓練
12	令和5年3月22日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練

(5) 地域交流事業

1) 地域交流委員会

地域交流事業は、地域交流委員会が活動を休止していることから、委員会主催の地域交流事業は実施しなかった。

2) こまえ苑広報委員会・広報誌の発行など

5月・8月・11月・1月という年間の発行計画に基づき毎号900部発行することができた。今年度もコロナ禍により地域との交流が出来ずこれらを記事にすることができなかつたため、施設内で行われたイベントを積極的に掲載して情報発信を行った。

また、ホームページの充実については、広報委員会が中心となり日々の活動・行事の紹介等を更新することにより充実した内容になった。

3) 実習生受入れ状況

学校・施設名	年 月	人数 (1日)	日数	備考
東京慈恵会医科大学	令和4年5月	4	4	特養
世田谷福祉専門学校	令和4年7月	2	20	特養
	令和4年9月	2	20	
東京都介護支援専門員実務研修	令和4年8月	1	1	居宅
	令和5年2月	1	1	
貞静保育専門学校	令和4年8月	2	5	特養
	令和4年10月	2	5	
喜多見中学校職場体験	令和4年10月	2	2	デイ
教員免許取得体験研修	令和4年10月～11月	8	5	特養・デイ
狛江第一中学校職場体験	令和4年11月	2	2	デイ

東京慈恵会医科大学	令和4月11日	1	2	デイ
-----------	---------	---	---	----

※上記以外にも、随時実習生を受け入れている。

4) ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた洗濯たたみのボランティア活動を再開し、前年度から実施している花壇の手入れをする園芸ボランティアを継続した。その他のボランティアについては、感染状況を考慮しながら再開に向けて検討していく。今年度の新規ボランティア登録は8人で、活動実績は353回となった。

①ボランティアの募集

粕江市市民活動支援センターと連携をし、ボランティア募集等について掲載したが、ボランティア活動が限定的のため受け入れはしなかった。また、地域包括支援センターの協力により、花壇と洗濯ボランティアへの参加呼びかけができた。

②ボランティア登録者への連絡

現在ボランティア登録をしている方へ年賀状や手紙を送付し、活動再開時に継続を希望する方への連絡体制を構築できた。

ボランティア活動実績

月 \ 区分	洗濯	園芸	合計
4月	2	6	8
5月	6	26	32
6月	9	28	37
7月	3	23	26
8月	7	31	38
9月	12	23	35
10月	11	17	28
11月	14	23	37
12月	11	20	31
1月	8	17	25
2月	8	23	31
3月	7	18	25
合計	98	255	353

令和5年3月31日現在（単位：人）

4. 総務課

(1) 総務係

重点目標や目標に掲げた内容について、職員の退職者は抑えられ新規採用ができたため適正配置することができ、来年度に向け新卒者2名を採用できた。また、特養フロアでクラスターを発生させてしまったが、各新型コロナウイルス感染症補助金等を活用し収益悪化を最小限に食い止めることができた。

1	目 標	法人の使命・経営の理念・ビジョン及び基本方針を理解し、これに基づいた業務基盤の整備・確立を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来の設備等の更新に備え計画通り施設・設備整備等積立金を5,115万円を積立てた。 ② 職員個々の研修派遣計画を立て、リモートによる研修は多かったが対面研修で参加できるものは対面研修で参加した。 ③ 人材紹介会社等に頼らない人材採用活動を継続できた。また、正規職員の離職率（定年退職者は除く）は3%と低下し、ホームページに情報公開を継続し職員補充ができ、来年度の新卒者2人を採用した。 ④ 特養送迎車は初年度登録から19年が経過し、リフト部分の故障等が頻発したため車両を更新した。 ⑤ 3階フロアで新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、ホームページでリアルタイムに情報を公開した。 ⑥ 利用者の負担軽減から2階フロア床の張替えを実施し、3階は来年度に実施することとした。また、エレベーターとダムウォーターの更新計画を策定した。 ⑦ 地下非常用発電機を屋上へ移設工事は高齢者施設等防災減災対策推進事業補助金（水害対策強化事業）が不採択となり実施しなかった。 ⑧ 新型コロナウイルス感染症関連補助金等の収入確保として、両立支援等助成金（小学校休業等対応コース）による賃金補償、感染対策補助金による抗原検査キット購入、サービス提供体制確保事業補助金によるクラスター発生時の掛かり増し経費、燃料費・物価高騰対策支援補助金を申請した。 ⑨ 1階と地下女性共用トイレの和式トイレを洋式トイレに改修した。 ⑩ 初めて東京都の職場体験事業による体験者を受け入れ、1人採用することができた。
2	目 標	効率性・費用対効果を念頭においた課題検討と改善を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 業務用洗濯洗剤の見直し、ウェブサイトを積極的に活用して安価な商品を精査することにより経費節減につながった。 ② 東京都の次世代介護機器導入支援事業補助金及び見守り支援機器及び通信環境の一体的整備事業補助金を活用し、施設全体にWi-Fiが開通し、特養に見守り支援機器を導入したことにより職員の労務負担軽減につながった。 ③ 自主研修制度により介護福祉士資格を1人が取得、介護職員実務者研修を1人が修了、介護職員初任者研修を4人が修了した。 ④ 光熱費の削減に努めたが、資源価格高騰により光熱費は上昇した。

(2) 栄養係

1	目 標	健康・栄養状態の維持、向上
	評 価	① 一人ひとりの摂食嚥下状態に合わせた食事内容、食事形態で提供した。栄養スクリーニング・モニタリング表を多職種で共有し、多角的視点で改善策を見出した。LIFEはフィードバック活用には至らなかった。 ② 18人に対して療養食を提供し、疾病の悪化進行を緩やかにした。 ③ 摂食嚥下不良により通常の食事を喫食することが困難な利用者に対して、食事を濃厚流動食や栄養補助食品等に置き換えた。
2	目 標	食事を通して生きる喜びを感じてもらう
	評 価	① 行事食やバイキング等を実施し、献立はできるだけその季節が感じられるように工夫した。食材の切り方や彩りを考慮し、見た目や食感に変化を持たせるように調理した。 ② 新形コロナウイルス感染症や鳥インフルエンザの影響で食材の欠品が多く、食材がやや単一化した。 ③ 「「通常の食事」から「看取り期の食事」への移行について」の要綱作成し、通常の食事を食べることが困難になった方でも、最期まで好きなものを楽しめるように工夫し、8人の方に提供した。
3	目 標	衛生面・安全面の向上、適正なコスト管理、在庫管理
	評 価	① 厨房内は「大量調理施設衛生管理マニュアル」に沿った衛生管理を行い、安全な食事提供に努めた。残菜・残食量を把握し、食材費、廃棄費用のコストの削減に努めた。 ② 世界情勢により食材の高騰が相次ぎ、食材費、管理費が上昇した。 ③ とろみ剤の種類を変更し、月間1.2万円程度の経費削減に繋げた。 ④ 特殊食品、付加食品の委託会社との費用負担を見直し、食材費の適正化を図った。
4	目 標	食事の要望や意見を取り入れ、満足度を向上させる
	評 価	① 食事に関する様々な意見を聞き取り、献立や食事の提供時に反映させた。喫食時には、直接利用者の様子を見たり話を聞いたりする事により、要望に対して迅速に対応することができた。 ② 食事の満足度調査は聞き取り方式で行った。

1) 栄養の目標 (栄養摂取基準)

利用者ごとに個別に設定した給与栄養目標量の平均値に安全率10%を考慮し、こまえ苑の給食栄養目標量とした。

以下には、令和4年度の栄養摂取基準及び栄養出納の平均量を示す。

区分	エネルギー	蛋白質	蛋白質エネルギー比率	脂質エネルギー比率	Ca	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維
単位	kcal	g	%	%	mg	mg	μgER	mg	mg	mg	g
必要量	1,400	60.0	15~20	15~25	600	6.0	450	0.80	1.00	85	15.0
提供量	1,411	59.8	17.0	25.2	601	7.2	566	0.84	1.02	105	13.7

5. 特別養護老人ホーム（ショートステイ含む）

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の流行が3年目となり、オミクロン株という感染力が強い変異株に変わり第8波でも感染予防対策をして乗り越えてきましたが、残念ながら、令和5年1月13日に職員の感染を確認し、その3日後には3階の利用者の感染が次々と確認されました。初めての感染で、戸惑う事は多々ありましたが日ごろの研修成果と、保健所と連携を取りながらの対応で、感染者数は、3階利用者18人、3階職員6人(内パート1名)にとどまり33日間で収束できました。保健所からは、今までに発症がなかったことや2階フロアに感染が拡大しなかった事については評価されました。今後も感染症対策を継続し再発しないように努めていきます。

入退所者の状況は入苑者26人退苑者24人で前年度(16人)に比べると、退所者が8人ほど増え新規入所者の平均年齢も86.3歳と高齢化しており、在籍期間も短くなってきている状況が見られます。稼働率はコロナ感染で入院者が6人出たこともあり96.5%と前年度の97.5%に比べると1%減となりました。

ショートステイについても、コロナ感染の影響が大きく88.4%と前年度92.1%に比べると3.7%の大幅減となりました。今後も軽度医療者の受け入れや関係機関等への周知、キャンセル時の早期対応や特養の空床利用等で、稼働率アップに努めていきます。

看取りについては、前年度より3人多く16人を看取っています。今後も看取りケアを充実させ、常に利用者や家族の立場に立ってより良いケアを目指していきます。

職員については、夜間緊急時の介護職員によるたん吸引ができる職員は、新規採用職員以外は全員取得できました。

人材育成としては、個人目標を提示させ面接を実施し、年間の必須研修もコロナの影響により各フロアでの少人数制となりましたが、内部研修を実施しました。マニュアルについては、担当者が中心となり見直しの更新を実施しましたが、現職員への育成には至らず、外部研修についてもクラスター発生と研修抽選漏れがあり一部の参加となりました。

他には、今年度末に全低床ベッドの新規交換事業、見守りシステムによるベッドセンサー、新規ナースコール交換事業及びスマホによるICT(情報通信技術)を導入することができ、今後もより利用者の安心、安全な介護サービスの提供、介護負担軽減や事務処理の効率化などを目指していきます。

(1) 重点目標

全職種共通

1	目 標	BCP(事業継続計画)を浸透させるための体制づくり
	評 価	① 枠の大きさ等の微調整は残っているがほぼ完成に至った。 ② 役職担当配置にとどまったため、職員の周知をめざす。 ③ マニュアル完成が年度末までずれ込み、訓練は実施できず来年度を目指す。 ④ 感染症対策研修はある程度実施できた。ただし、コロナ感染症対応に関しては、当初想定の対応とかなりの変化があり、今後アップデートしていく必要がある。 ⑤ コロナ感染症対応に関しては必要物品の想定以上の消費があり、従来の備蓄では賄えない現状があった。今後も精査していく必要がある。
2	目 標	「看取り」「たんの吸引」を定着させるための体制づくり
	評 価	① デスカンファレンスや研修はある程度実施できた。 ② 看取り対応について、家族の対応を検討していく課題が見え来年度に向けて強化していく。

		③ たんの吸引対応認定の研修参加は今年度も継続。新入職員を除き全員取得に至っている。
3	目 標	職員体制の充実により、安定して質の高い介護が提供できる体制づくり
	評 価	① 新規採用者のマニュアルを活用したOJTは引き続き実施できている。それぞれに合わせた教育スケジュールの検討を目指していく。 ② 介護職員の研修参加は抽選漏れなどの影響もあり、一部の職員の参加に限られた。 ③ クラスタ発生等の影響もあり、「認知症」「褥瘡（2回目以降）」「口腔ケア」は研修を開催することができなかった。 ④ キャリア段位制度導入に関しては、今年度も検討自体行うことができず今後の課題といえる。
4	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 在宅で実施している医療ケアの受け入れについては、継続して行っている。胃ろうについては5名の上限を設けた。ケースバイケースの対応となっているが、都度検討し柔軟な受け入れの対応に努めた。
5	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 経年による機器の更新として、ナースコールとベッドの入れ替えを行った。ICT機器として、眠りスキャンを導入した。車椅子については故障が多くなっているものから更新している。感染症対策物品について、苑内で発生した経験を踏まえ準備や備蓄を行った。 ② 余暇活動については「喫茶いちょう」が月1回、「生け花クラブ」が月2回開催している。年度末には3年ぶりとなる「お花見」の散歩を実施した。 ③ 事故防止の研修について、少人数で集まり数回に分け実施した。 ④ LIFEへの情報提供は実施できている。フィードバックされた情報は閲覧するにとどまったため、活用できるように目指していく。 ⑤ 空床の期間短縮については、入所内定待機者を一定数確保に努めている。今年度は入苑者26人、退苑者24人であった。空床の期間は平均16.7日となっている。 ⑥ オムツの見直しに着手し、複数の業者と打合せを開始している。 ⑦ 職員の腰痛対策については、リフトの活用を行っているが、新たな取り組みまで至らなかったため、今後も検討が必要である。

ショートステイ

1	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 日曜日は家族送迎での入退苑を受け入れている（年6件）。午後入苑等に関しては、希望者のみ受け入れている。 ② 軽度医療のある利用者の受け入れについては、在宅酸素とインスリン注射の必要な方の受け入れにあたって検討を行い、受け入れを実施している。胃ろうの方については上限を特養含め5人としており、12月まで受け入れを行った。
2	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① コロナ禍での受け入れについて、問診票での聞き取りや受け入れ時のバイタル測定、入浴時の全身観察などで対応している。 ② 空床ベッドの活用は緊急時などに活用ができた（延べ19日）。 ③ ホームページへの情報の掲示は、日々の更新にとどまった。

	④ センサーの設置は、眠りスキャンの導入により全ベッド（8床）に設置できた。既存のセンサーも併用して使用している。転倒リスクの軽減に寄与できたと思われる。
--	---

医務

1	目 標	感染予防・感染拡大防止の強化
	評 価	① 内部研修を2回実施した。 ② 換気は時間を決めて行った。備品整備は5月と10月に実施した。
2	目 標	看取り介護の継続
	評 価	① 食事摂取量の低下、体重減少に気を付け各職種と連携を取り看取りケアを開始することができた。 ② 看取りケアについては、看取り介護向上委員会を中心に話し合い、無理のない食事や口腔ケアなどのアドバイスや指導を行い実施することができた。
3	目 標	「褥瘡ケア」「夜間のたん吸引」の継続
	評 価	① 2人が外部研修を受け、内部研修実施後資格取得した。 ② 問題はなかったが報告が遅れることがあった。そのため安全確認委員会に間に合わなかったケースがあった。 ③ 計画立案、評価までに至らなかったケースがあった。 ④ 計画した時期にコロナ感染となり、実施できなかった。
4	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 血糖値測定のためのチップや針など、個人で使用のものは、自己購入して頂き、感染対策に必要なグローブは価格に注意しながら購入できた。 ② 業務マニュアルは完成できなかったため、来年度完成させる。

(2) 年齢別内訳

令和5年3月31日現在（単位：人）

区分	男	女	計	構成比 (%)
64歳以下	0	0	0	0.0
65～69歳	0	0	0	0.0
70～74歳	3	3	6	7.5
75～79歳	1	3	4	5.0
80～84歳	8	9	17	21.2
85～89歳	7	24	31	38.8
90～94歳	2	12	14	17.5
95～99歳	1	7	8	10.0
100歳以上	0	0	0	0.0
合計	22	58	80	100.0
最高年齢	98歳	98歳		
最低年齢	71歳	70歳		
平均年齢	83.9歳	87.2歳	86.3歳	

(3) 在苑期間の状況

令和5年3月31日現在(単位:人)

区分	男	女	計	構成比(%)
～1年未満	8	14	22	27.6
1年以上～2年未満	1	8	9	11.2
2年以上～3年未満	8	6	14	17.6
3年以上～4年未満	2	6	8	10.0
4年以上～5年未満	0	6	6	7.5
5年以上～6年未満	0	3	3	3.7
6年以上～7年未満	0	3	3	3.7
7年以上～8年未満	2	6	8	10.0
8年以上～9年未満	0	2	2	2.5
9年以上～10年未満	1	1	2	2.5
10年以上	0	3	3	3.7
合計	22	58	80	100.0

(4) 退所者の状況

令和4年度

性別	年齢	退所年月日	在苑期間		退所理由
女	94歳	R4.4.5	4年	3ヵ月	居宅
男	92歳	R4.5.1	0年	3ヵ月	死亡
女	88歳	R4.5.29	5年	1ヵ月	死亡
男	69歳	R4.6.1	1年	7ヵ月	死亡
女	84歳	R4.6.6	2年	7ヵ月	死亡
女	80歳	R4.7.25	3年	8ヵ月	死亡
男	82歳	R4.8.25	0年	5ヵ月	死亡
女	85歳	R4.8.27	1年	5ヵ月	死亡
女	98歳	R4.9.12	0年	3ヵ月	死亡
女	90歳	R4.10.9	1年	3ヵ月	死亡
女	89歳	R4.10.21	1年	0ヵ月	死亡
男	89歳	R4.11.1	1年	7ヵ月	死亡
女	97歳	R4.11.13	7年	11ヵ月	死亡
男	59歳	R4.11.29	0年	5ヵ月	死亡
男	91歳	R4.12.18	6年	10ヵ月	死亡
女	96歳	R4.12.30	3年	2ヵ月	死亡
女	92歳	R5.1.1	0年	2ヵ月	死亡
男	89歳	R5.1.7	2年	7ヵ月	死亡
女	91歳	R5.1.9	2年	9ヵ月	死亡
女	86歳	R5.1.16	0年	10ヵ月	死亡
女	95歳	R5.1.21	3年	10ヵ月	死亡
女	92歳	R5.3.1	2年	8ヵ月	死亡

性別	年齢	退所年月日	在苑期間		退所理由
女	76歳	R 5. 3. 6	1年	7ヵ月	死亡
女	93歳	R 5. 3. 26	1年	9ヵ月	死亡

*内訳 死亡による退所 23人(男7人、女16人)
 居宅へ戻る 1人(男0人、女1人)
 合計 24人(男7人、女17人)

(5) ADLの状況

1) 要介護度分布

令和5年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	2	11	9	22
女	2	1	9	26	20	58
計	2	1	11	37	29	80
構成比(%)	2.5	1.2	13.7	46.3	36.3	100.0

2) ADL(日常生活動作)の状況

区分	J	A	B	C	合計
人数	1	20	42	17	80
構成比(%)	1.2	25.0	52.5	21.3	100.0

注：分類の基準「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。
ランクA	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。
ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。
ランクC	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。

3) 認知症の程度

区分	自立	I	II	III	IV	M	合計
人数	1	3	12	34	27	3	80
構成比(%)	1.2	3.7	15.0	42.5	33.9	3.7	100.0

注：分類の基準「認知症高齢者の日常生活自立度」

I	何らかの認知障害を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(6) 利用者の日常生活

1) 行事実施状況

開催月日	行事名	内容等
5月5日・6日 7日	菖蒲湯 端午の節句	入浴日に合わせて湯船に菖蒲を浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。5日には飾っていた兜の前で合唱、季節感を楽しんだ。
7月7日	七夕	各フロアに笹を準備し、願い事を書いた短冊や飾りを下げ、季節感を味わっていただいた。
9月7日	敬老会	昼食に祝い膳を提供、午後から各フロアの食堂にてお祝い会。一緒に楽しむ時間を過ごした。
9月28日	こまえ苑祭	コロナ感染により前年同様室内での開催となった（当初は利用者家族の参加の検討もあったが本年は断念）。気温の上昇の懸念はなかったが、変更案の9月で実施した。午前中に神輿やサンバパレード、昼食はお重を提供。午後は各フロアで釣りやボウリングなどを実施し利用者とともに楽しむ時間を過ごした。
12月21日	年忘れ クリスマス会	コロナ感染のため、各フロア別での開催。クリスマスの飾りつけをして、クリスマスメニューの食事やゲーム、二人羽織などで楽しみながら、一年の締めくくりをした。
12月19日・20日 21日	ゆず湯	入浴日に合わせて湯船にゆずを浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。
1月1日	初詣	ふれあいホールに模擬神社を設営し初詣を実施。年末より風邪の感染者多発（一部は居室対応、カウンター前での食事参加となる）。昼食はおせち料理で新春のお祝いをした。
1月11日	もちつき大会	前年同様各フロアでそれぞれ臼や杵を用い、年男男女の方や希望者に餅つきを実施していただいた。
2月4日	豆まき	3階フロアでコロナ感染がみられ本年度は中止となった（鬼役の職員がフロアや居室をまわり、豆の代わりに新聞玉を投げ、鬼を払い福を呼び込む予定であった）。
3月3日	ひな祭り	2階、3階ごとにひな人形を飾り、職員と一緒に春にちなんだ歌を合唱した。
3月22日 ～ 4月1日	お花見	近隣の喜多見中学校横の桜の散策に出かけることができた。3年ぶりの外出となり天候にも恵まれ8割を超える方が参加できた。大きな桜のタペストリーを活用し雰囲気を作り上げた。

2) クラブ実施状況

クラブ名	活動日	活動内容
生花	第2・4金曜日 午前10時20分～11時20分	生花

3) 音楽療法

コロナ禍であり自粛している。

4) 散歩・買物・カラオケ

買い物に関しては、引き続きネットスーパーを利用し、問題なく実施できている。
苑外での散歩についてはコロナ禍であり自粛している。主に日曜日にベランダでの外気浴やカラオケを実施。

5) 個別外出の実施

コロナ禍であり自粛している。

6) 理美容実施状況

①理容

○実施日…毎月1回第4月曜日（原則）

○費用……2,200円（散髪のみ）・1,200円（顔剃りのみ）・2,700円（セット）

○協力……東京都理容環境衛生同業組合 武蔵調布支部（毎回2～3人）

○月別実施人数（特養利用者）（ ）内はSS利用者

月	人数	月	人数
4月	12	11月	9
5月	12	12月	12
6月	14	1月	0
7月	12	2月	16（1）
8月	9（1）	3月	15
9月	13（1）	合計	133（4）
10月	9（1）	月平均	11

※ 1月は、新型コロナウイルス感染症発症のため中止した。

②美容

○実施日…偶数月1回第3木曜日（原則）

○費用……2,750円（カット）・8,800円（パーマ、マニキュア）

○協力……ディチャーム株式会社（毎回2～3人）

○月別実施人数（特養利用者）

月	人数（カッコ内含む）	月	人数（カッコ内含む）
4月	27（パーマ等3）	10月	25（パーマ等3）
5月	25（パーマ等1）	11月	23（パーマ等0）
6月	27（パーマ等1）	12月	26（パーマ等1）
7月	24（パーマ等1）	1月	8（パーマ等0）
8月	25（パーマ等1）	2月	27（パーマ等1）
9月	26（パーマ等0）	3月	25（パーマ等1）
合計	288（パーマ等13）	別途SS利用なし	
平均	24/月		

(7) 家族との連携

1) 行事関係：納涼祭への参加（未実施）

2) 利用者家族懇談会への参加（未実施）

(8) 医療と看護

利用者の健康管理とともに、安全で快適な日常生活が送られるよう看護サービスの充実に努めた。

1) 入苑時健康管理

- ① 入苑後の嘱託医による診察を実施。
- ② 入苑日より3日間は、バイタルチェックを行い、利用者の健康レベルの把握を行っている。

2) 利用者健康診断と歯科健診

- ① 6月に健康診断が実施された。採血・レントゲン・心電図・尿検査ができた。
- ② 8月に狛江市歯科医師会による歯科健診が実施された。また、歯科医師往診により通院が困難な利用者の歯科治療を行っている。

3) 感染症に対する取り組み

感染症に対しては、手洗い・うがい・体温測定の徹底を基本としている。

《新型コロナウイルス感染症》

R5/1/13～2/14の33日間、新型コロナウイルス感染症が第8波の中で集団発生した。日々の感染症対応について保健所と情報を共有し、情報の更新を行いながら対応を実施。対応する職員を固定し、極力居室の中で生活全般を完結させるなど対応を行った。また東京都の高齢者等医療支援施設を活用した。結果、単一フロアのみで死者を出すことなく終息させることができた。

- ① 情報を取り入れ、産業医・嘱託医と相談しながらマニュアルを作成し、研修の中で周知徹底した。
- ② 発熱者については、嘱託医の指示のもと速やかにPCR検査・抗原検査を実施した。
- ③ 面会については、オンライン面会とベランダ面会を継続（ただし看取りの方の面会は可）。

R4/6/28～7/16、9/29～11/4、R5/3/1～（現在も継続中）の期間は、東京都の新形コロナ感染者が減少したため、対面の面会を実施することができた。その際は、大型アクリル板の使用・1家族2人までとし、10分間・予約制・握手などの接触はしないなどの条件で喫茶コーナーを使用し問題なく実施できた。

- ④ コロナワクチン接種は4回目R4/7、5回目R4/11の時期に利用者・全職員が終了している。

《ノロウイルス及び感染性胃腸炎・疥癬》

- ① 今年度は、感染性胃腸炎・疥癬の発症はみられなかった。

4) 肺炎球菌ワクチンの接種について

- ① 今年度はコロナワクチン接種があったため、接種者はゼロだった。

5) 嘱託医による施設内の診察状況（別表参照）

6) 他の医療機関による診療状況（別表参照）

7) 入院医療機関の利用状況 (単位：人)

病院名	延人員
慈恵医科大学付属第三病院	7
日産厚生会玉川病院	3
世田谷記念病院	1
世田谷中央病院	1
関東中央病院	1
榊原記念病院	1
多摩総合病院	1
麻生病院	1
合計	16

8) 入退院の状況 (単位：人)

入院期間	1～30日	31～60日	61～90日	91日以上	合計
入院者実数	14	2	0	0	16

(9) リハビリテーションとマッサージ

1) 機能訓練、嚥下マッサージについて

月曜日から金曜日まで、機能訓練指導員において、マッサージ及び可動域訓練などの機能訓練を行っている。また、昼食前に誤嚥予防の観点から嚥下マッサージを実施している。

2) リハビリテーションについて

機能訓練指導員が、作業療法士（OT）から引き継ぐ形で個別リハビリを行っている。なお、集団体操は、機能訓練指導員との連携のうえ水曜日にリハビリ担当が中心になり実施し、より多くの利用者にリハビリの機会を設けている。

3) 個別機能訓練実施計画書について

3ヵ月に1回の評価を行ない、個々のニーズに則した計画を作成している。変化に即した計画の変更を実施している。

<リハビリ・マッサージ実施延人数>

令和4年度 (単位：人)

月	集団体操2階	集団体操3階	ショートステイ	個別リハ	機能訓練	嚥下
4月				33	298	40
5月				29	280	38
6月				26	318	30
7月				38	293	20
8月				28	306	20
9月				28	276	19
10月				25	297	20
11月				30	286	19
12月				29	308	19
1月				18	160	15
2月				22	206	16
3月				31	318	21
総計				337	3,346	277

※ 12/23, 27, 29, 30, 31～1/5 正月休み 1/16～31, 2/1～14 3階コロナ感染対応のため未実施

他の医療機関による診療状況(令和4年度)

(単位:人)

区分 月	内科		外科		整形外科		耳鼻咽喉科		皮膚科		脳外科		婦人科		泌尿器科		精神科		眼科		歯科		合計		救急車による搬送			
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
4月	7	8	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11	0	0
5月	4	5	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	11	12	0	0
6月	4	6	0	0	1	1	1	1	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	11	13	0	0
7月	3	3	0	0	3	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	0	0
8月	3	3	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	7	0	0
9月	5	5	1	1	1	3	0	0	2	3	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12	0	0
10月	6	8	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	11	2	2
11月	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	
12月	4	5	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	7	12	2	2	
1月	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
2月	2	2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0
3月	2	2	0	0	3	4	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	9	0	0
合計	46	53	2	2	14	19	2	2	10	13	6	7	2	2	2	2	3	3	5	3	0	0	0	0	90	108	4	4

特別養護老人ホーム・ショートステイ(88床)合算 事業実績

稼働率目標値:98%

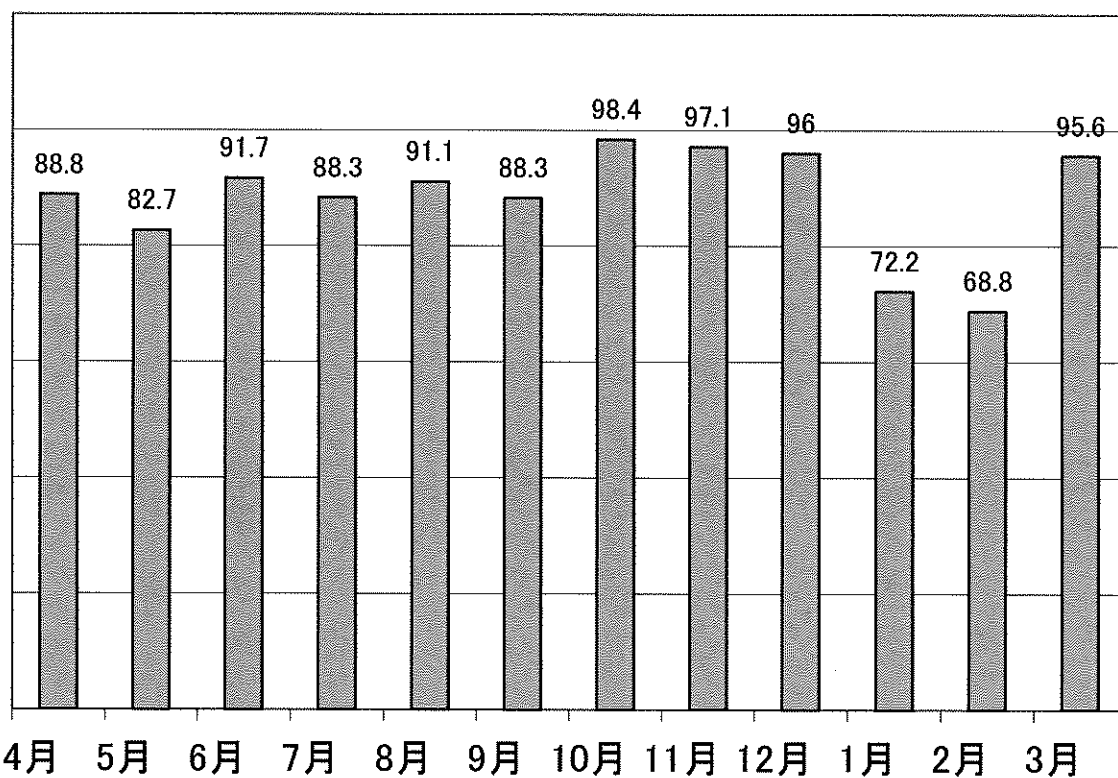
延利用日数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	62	67	76	205	70	68	60	198	403
要介護 2	41	38	32	111	66	58	46	170	281
要介護 3	507	512	526	1,545	559	530	504	1,593	3,138
要介護 4	1,143	1,204	1,168	3,515	1,111	1,080	1,069	3,260	6,775
要介護 5	814	808	783	2,405	870	925	907	2,702	5,107
特養+SS計	2,567	2,629	2,585	7,781	2,676	2,661	2,586	7,923	15,704
月間定員(日数×88)	2,640	2,728	2,640	8,008	2,728	2,728	2,640	8,096	16,104
稼働率(88床)	97.2%	96.4%	97.9%	97.2%	98.1%	97.5%	98.0%	97.9%	97.5%

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4
要介護 1	62	60	62	184	65	56	65	186	370	773
要介護 2	68	60	70	198	59	42	69	170	368	649
要介護 3	486	444	487	1,417	401	359	398	1,158	2,575	5,713
要介護 4	1,009	1,039	1,047	3,095	967	978	1,169	3,114	6,209	12,984
要介護 5	1,017	965	991	2,973	997	861	949	2,807	5,780	10,887
特養+SS計	2,642	2,568	2,657	7,867	2,489	2,296	2,654	7,439	15,306	31,010
月間定員(日数×88)	2,728	2,640	2,728	8,096	2,728	2,464	2,728	7,920	16,016	32,120
稼働率(88床)	96.8%	97.3%	97.4%	97.2%	91.2%	93.2%	97.3%	93.9%	95.6%	96.5%

ショートステイ 利用定員8人

区分 月	実利用者数(人)			延利用者日数(日)			実施日数 (日)	1日平均 利用者数(人)	摘要
	男	女	計	男	女	計			
4月	10	22	32	66	147	213	30	7.1	
5月	9	23	32	54	151	205	31	6.6	
6月	10	23	33	70	150	220	30	7.3	
7月	8	25	33	66	153	219	31	7.1	
8月	11	25	36	82	144	226	31	7.3	
9月	8	18	26	67	145	212	30	7.1	
10月	12	17	29	103	141	244	31	7.9	
11月	12	20	32	89	144	233	30	7.8	
12月	15	19	34	110	128	238	31	7.7	
1月	11	16	27	81	98	179	31	5.8	
2月	7	16	23	48	106	154	28	5.5	
3月	13	22	35	84	153	237	31	7.6	
合計	126	246	372	920	1,660	2,580	365	7.1	
前年度比%	120	103.4	108.5	100.7	93.57	95.98	100.0	95.5	
令和3年度計	105	238	343	914	1774	2688	365	7.4	
令和2年度計	94	228	322	723	1632	2355	365	6.5	
31年度計	110	276	386	762	2,007	2,769	366	6.5	

ショートステイ稼働率(特養空きベッド利用含む)(%)



6. 高齢者デイサービスセンター

三事業のうち通所介護は前年度の稼働率を上回りましたが、日常生活支援総合事業と認知症対応型通所介護は前年を下回る結果となりました。今年度もマスク着用の促し、アクリル板の設置、活動物品の消毒、席の間隔を空ける等の感染症予防対策を継続実施する中での支援提供となりました。

ワイズマンのすぐろくタブレットを導入したことにより、作業効率が向上し、ペーパーレス化も推進することができました。

また、東京都の介護現場業務改善促進事業のコンサルティングを受け、マニュアルの見直しを実施し、各職員が事務作業を行える業務分担に変更することができました。

来年度はケアの質の向上を目指すと同時に、施設内に留まることなく、「デイサービスセンターこまえ苑を地域住民に広く伝えること」ができるよう、地域活動を展開していきます。

1	目 標	サービス内容の充実を図る																								
	評 価	<p>① 講師ボランティアによる活動は中止とし、毎月の壁面装飾、手工芸、カレンダー作成が定着し、利用者も準備作業を役割として感じており、利用者の満足度が向上している。</p> <p>② 日々の昼食前の口腔体操を継続して実施ができた。口腔機能の維持・向上の一助になっている。</p> <p>③ 入浴サービスにおいては、業務分担を見直し、入浴に係る時間を増やしたこともあり、年間延べ人数では、前年度 3,124 人に対して今年度 3,634 人に増加した。1日 15 人から 16 人と人数を増やしている。</p> <p>④ 生活機能や身体機能の維持・向上を目指し、車いす使用の利用者でもひじかけ椅子に移ることやフロア内及び廊下歩行等を余暇時間に実施できている。</p>																								
2	目 標	認知症の方に対する対応能力、介護技術を身につけるとともに、働きがいのある職場を目指す																								
	評 価	<p>① 職員会議において、職員主催の研修を実施し、認知症の理解や利用者別の適した介護技術等を学びあうことができた。</p> <p>② 職員個人面談を実施し、自由意見発言の場ができた。</p>																								
3	目 標	様々な環境を持つ方の受け入れを行い、稼働率の安定、向上を目指す																								
	評 価	<p>① 新規利用調整に関しては、見学調整から利用開始の意向に沿う対応を行った。毎月居宅支援事業所へは訪問確認を行い実施した。</p> <p>※利用者数の数値目標（稼働率）に関しては、目標値達成できなかったが、改善された。（ ）は昨年実績。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>日平均利用数</th> <th>利用開始数</th> <th>利用終了数</th> <th>延べ欠席数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><基本></td> <td>24.8 (23.4)</td> <td>40 (40)</td> <td>35 (30)</td> <td>1,198 (1,329)</td> </tr> <tr> <td><総合事業></td> <td>3.3 (4.4)</td> <td>6 (7)</td> <td>6 (10)</td> <td>171 (141)</td> </tr> <tr> <td><基本+総合事業></td> <td>28.1 (27.7)</td> <td>46 (47)</td> <td>41 (40)</td> <td>1,339 (1,500)</td> </tr> <tr> <td><認知症対応型></td> <td>5.7 (5.9)</td> <td>10 (16)</td> <td>10 (15)</td> <td>618 (553)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② インスリン注射、尿道バルーンカテーテル利用者の受け入れができています。</p> <p>③ 業務シフトごとのマニュアルの見直しは取りかかれていない。</p> <p>④ 算定要件に当てはまる加算は取得できている。</p>	事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数	<基本>	24.8 (23.4)	40 (40)	35 (30)	1,198 (1,329)	<総合事業>	3.3 (4.4)	6 (7)	6 (10)	171 (141)	<基本+総合事業>	28.1 (27.7)	46 (47)	41 (40)	1,339 (1,500)	<認知症対応型>	5.7 (5.9)	10 (16)	10 (15)
事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数																						
<基本>	24.8 (23.4)	40 (40)	35 (30)	1,198 (1,329)																						
<総合事業>	3.3 (4.4)	6 (7)	6 (10)	171 (141)																						
<基本+総合事業>	28.1 (27.7)	46 (47)	41 (40)	1,339 (1,500)																						
<認知症対応型>	5.7 (5.9)	10 (16)	10 (15)	618 (553)																						

(1) 事業活動状況

1) 通所介護、総合事業での活動

<活動メニュー>

体操・カラオケ・書道・頭の体操・テーブルゲーム・歌の会・手工芸・壁面装飾・レクリエーションゲーム

<評価と課題>

活動の種類は大きく二つに分け、身体全体や手先を動かすものと、頭を使うクイズ形式などのものを取り入れ、各実施日の担当職員を中心に新しい内容のゲームやテーブルゲームのリニューアルなども行え、内容の充実にも努めている。

新型コロナウイルス感染症予防対策により前年同様の実施スペースの換気、物品類の消毒に努め、密集を避けた席の配置をしている。

また、外部ボランティア講師による活動も中止となったため、利用者の満足度を落とさぬ工夫を行う。手工芸等の創作活動においては、季節に応じた壁面装飾や持ち帰り作品の活動を行い、毎月の担当を介護職員以外にも様々な職種の職員がかかわる事で、バラエティーに富んだ作品を提供することができた。

2) 認知症対応型通所介護での活動

認知症特有の症状がある高齢者を対象に、明るくゆったりとした環境をつくり、情緒の安定と心身機能の維持・向上を目的とした援助に努めた。紐巻きや基石の色分け等を取り入れた機能訓練や、長い廊下を生かした歩行訓練も実施している。日常生活に即した作業（タオル畳み・テーブル拭き）、手工芸などの作業も取り入れている。

<評価と課題>

いつもの場所で、いつもの活動を、いつものメンバーと過ごせる落ち着いた環境づくりに注力し、安心して通っていただける場所として利用者に受け入れていただいている。手工芸などででき上がった作品を壁に飾り、鑑賞することで活動の振り返りをする事ができた。今後はより個別性を生かした活動を提供できるように、職員間で情報共有し日々の介護に反映させ、利用者がより楽しく過ごせるようにしていきたい。

3) 入浴

利用者の健康状態に合わせ、特殊浴槽・一般浴槽での柔軟な対応を行っている。利用回数に関わらず希望される利用者に週2回の入浴日を設け、入浴を実施している。また、入浴サービス開始時及び1年ごとに、主治医からの身体状況に関する情報を提出していただき、健康チェック・感染症予防や急変防止に努めた。

<評価と課題>

16人の定員設定になり、入浴希望のある方の受け入れも多くなるようになった。ただし、特定の曜日は定員人数に達しており、待機者リストに登録し待機していただき対応している。

4) 食事

食事形態の変更や自助食器の提供などの個別対応を行ない、ソフト食も含め身体状況に合わせた特殊調理を施した食事の提供も行なっている。

誕生会のある週には、特別感のあるケーキ、行事ではテーマに合わせた食事やおやつを提供している。

今年度は前回好評であったイベント食【寿司バイキング】を行うことができた。また、季節ごとに旬の食材を使った食事の提供も行っているほか、毎月1日は赤飯を提供している。赤飯はお好きな方が多く楽しみにされている方もいる。

今年度は緑茶・玄米茶からカフェインを含まない麦茶・ほうじ茶を提供し好評

を得ている。

<評価と課題>

利用者の嗜好による要望等についても細やかに対応することが出来た。来年度も担当職員を中心に食事に対する日々の意見を取り入れられるように心がけていく。

水分補給を重視し、昨年夏には提供の無かったノンカフェインの麦茶・ほうじ茶の提供を行い、より一層脱水予防に努める。

5) 健康チェック・機能減退防止・健康増進

利用者の高齢化が進み、独居又は高齢者のみ世帯の利用者が増えている。それに伴い医療行為を必要とする利用者も多くなってきている。自己管理が難しい利用者の薬を預かる等、服薬支援を行なっている。血糖値測定、インスリン注射、人工肛門等、専門職としてのアドバイスを利用者や家族に行っている。MCSによる情報共有は、利用者の状態把握とタイムリーな連携に大変役立っている。

<評価と課題>

利用者の情報収集を行なうとともに、バイタル測定や状態観察を行い、健康管理に留意している。利用者家族、関係職種・事業所等との連絡を行い、利用中の健康状態や異常の早期発見に努めている。訪問医を導入する利用者が増え、在宅での看取りを希望する家族も増えている。デイサービスでの受け入れ体制も整えていく必要がある。

毎月の体重測定により、利用者の状況把握と情報提供がタイムリーにできている。

6) 送迎

デイサービス及び一部のショートステイの利用者に自宅までの送迎を実施している。利用者の状況に応じて時間やルート細かい変更や介助方法の調整など、可能な限り個別ニーズに沿ったサービスを提供している。

ショートステイやレスパイト入院で頻繁に欠席される方がおり、通常の送迎車ではなく軽自動車による個別対応を開始した。これにより、その枠を他の方に利用することができ、効率性を図ることができた。

<評価と課題>

送迎時間に指定のある方などが増えており、長時間の利用が難しいと思われる方には、遅い時間のお迎え、早い時間の帰宅とするなど、できる限りの対応を行っている。送迎枠に余裕がある時期とほぼ余裕がない時期とが生じており、新規利用や利用増回となる方の送迎は、空きのある枠での調整となることが多い。

7) デイサービスでの1日

- 9:00 ~ 利用者到着・健康チェック・水分補給
- 10:30 ~ 朝の会・活動
- 12:15 ~ 昼食
- 13:00 ~ コーヒータイム・談話
- 14:00 ~ 活動
- 15:15 ~ おやつ・水分補給
- 16:10 ~ 1便出発・第三活動

(2) 講師によるクラブ活動

新型コロナウイルス感染症予防対策として講師による活動は中止とした。

1) 音楽療法 書道 脳いきいきアート等

<評価と課題>

3月27日に音楽の街一狛江エリアコンサートを実施し、好評を得た。今年度はボランティア受け入れ可能となれば活動を再開したい。

行事実施状況

	行事名	内 容
7月	納涼祭	2日間で実施。新型コロナウイルス感染症予防を備えた試みとして、対策に留意したうえで参加型の納涼祭を実施している。午前中に体操を行ない、後半にスイカ割りを行った。昼休みには職員が利用者の自席を回り、縁日的余興としてくじ引きを行った。景品は大当たり・中当たり・小当たりの三種類を用意している。午後は「納涼演芸大会」と称し、事前に職員・利用者から参加者を募り、カラオケ・俳句・手品等で大いに盛り上がっていた。会の最後に皆さんで東京音頭を踊り、祭りの雰囲気も味わっていた。 昼食は松花堂弁当を提供した。飲み物は、りんごジュース、オレンジジュース、冷たいお茶、ノンアルコールビールを提供し、利用者に好きな飲み物を選んでもらった。お祭りの雰囲気を演出できるように、装飾やBGMも使用している。
9月	敬老会	2日間で実施。「1人ひとりにお祝い品の贈呈」、「狛江市の風景の歴史を振り返るビデオ上映として狛江市立図書館に許可をいただきホームページ上の写真資料で利用者の活躍されていた時代の映像を見ていただく時間」を提供した。 昼食は敬老祝い膳、納涼祭に続きジュース等の飲み物を提供した。今年のお祝い品は「ひざ掛け、リバーシブルマフラー」をお贈りした。
1月	新年会	2日間で実施。利用者職員による「新春かくし芸大会」を実施した。 ①前半は利用者にはカラオケで歌を披露して下さる方を募り、それぞれの得意な曲と素敵な歌声を披露して下さった。後半は職員有志による「かくし芸」を披露し、楽しいひと時を過ごしていただいた。 ②最後に「一月一日」を合唱し職員からの新年の挨拶を行った。 昼食は、赤飯、天ぷら、お刺身、おせち盛り合わせなど、新年にふさわしいものを提供した。

<評価と課題>

令和4年度の試みとして利用者参加型の企画を考案し大変好評をいただいた。各行事の実施についてもソーシャルディスタンスや換気などの感染予防のための配慮をしつつ、より楽しんで頂ける内容を検討した。食事も普段と違う豪華なものが出ることで、とても楽しみにされている方も多く見られた。各自の持てる力を発揮して利用者の新たな一面を引き出せている。

(3) 家族懇談会

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	開催中止 (開催予定6月)	開催中止 (開催予定11月)
参加家族数	0人	0人
開催予定 内容	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ

<評価と課題>

令和4年度も家族懇談会は、両日共に新型コロナウイルス感染症予防対策継続中という事もあり、中止とする。例年は、年2回開催し、家族よりいろいろなご意見をいただき、家族同士の意見交換の場として有意義な交流の場所であった。

令和5年度は再開が決定しており、感染予防対策を徹底して実施する。

(4) 運営推進会議（認知症対応型通所介護）

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日 (郵送)	令和4年5月12日 郵送にて開催	令和4年10月12日 郵送にて開催
出席者	利用者、家族、地域の代表者、当サービス知見者、自治体職員、地域包括支援センター職員、事業所代表者、事業所管理者	
主な内容	①サービス提供内容について ②利用者数等の事業実績について ③その他意見交換	

<評価と課題>

令和4年度の運営推進会議は、両日ともに新型コロナウイルス感染症予防対策継続中という事もあり、対面での開催は中止とし、前回会議録、主な行事、事業報告を郵送し、書面にて年2回「運営推進会議」の開催とした。地域とどのように密着した関わりを深めていくか出席者で意見交換を行なうものであるが、会議を重ねていくなかで、地域との関わりが多く持てるよう意見交換を行っていきたい。

サービス実績報告(通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス)

利用率目標値:750人以下/月(1日29人)

利用定員:1日35人

利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	238	230	243	711	221	238	247	706	1,417
要介護2	245	241	244	730	244	254	220	718	1,448
要介護3	63	85	80	228	81	87	106	274	502
要介護4	67	63	75	205	79	60	70	209	414
要介護5	46	55	51	152	54	51	60	165	317
合計	659	674	693	2,026	679	690	703	2,072	4,098
稼働日数	26	26	26	78	26	27	26	79	157
月間定員(日数×定員)	910	910	910	2,730	910	945	910	2,765	5,495
利用率	72.4%	74.1%	76.2%	74.2%	74.6%	73.0%	77.3%	74.9%	74.6%

利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	243	246	211	700	198	182	224	604	1,304	2,721
要介護2	235	212	187	634	173	177	198	548	1,182	2,630
要介護3	96	103	98	297	95	80	100	275	572	1,074
要介護4	57	56	51	164	39	36	47	122	286	700
要介護5	56	59	48	163	54	41	66	161	324	641
合計	687	676	595	1,958	559	516	635	1,710	3,668	7,766
稼働日数	26	26	24	76	24	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	910	910	840	2,660	840	840	945	2,625	5,285	10,780
利用率	75.5%	74.3%	70.8%	73.6%	66.5%	61.4%	67.2%	65.1%	69.4%	72.0%

デイサービス実績報告(総合事業・市基準通所型サービスA)

利用定員:1日5人

利用率目標値:750人以下/月(1日5人)

延利用者数	第1四半期小計					第2四半期小計					前 期 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
事業対象者	50	49	43	40	43	35	118	260			
要支援1	4	4	2	3	6	4	13	23			
要支援2	39	42	41	43	42	33	118	240			
合計	93	95	86	86	91	72	249	523			
稼働日数	26	26	26	26	27	26	79	157			
月間定員(日数×定員)	130	130	130	130	135	130	395	785			
利用率	71.5%	73.1%	66.2%	66.2%	67.4%	55.4%	63.0%	66.6%			

延利用者数	第3四半期小計					第4四半期小計					総 計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
事業対象者	37	29	21	19	26	27	72	159			
要支援1	3	5	4	3	5	6	14	26			
要支援2	39	42	39	40	47	43	130	250			
合計	79	76	64	62	78	76	216	435			
稼働日数	26	26	24	24	24	27	75	151			
月間定員(日数×定員)	130	130	120	120	120	135	375	755			
利用率	60.8%	58.5%	53.3%	51.7%	65.0%	56.3%	57.6%	57.6%			

デイサービス実績報告(認知症対応型)

利用率目標値:1日平均8人以上

利用定員:1日10人

延利用者数	第1四半期小計					第2四半期小計					前期計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	5	6	15	20	17	17	20	14	10	27	54	80
要介護2	40	36	24	100	79	82	79	22	22	66	215	433
要介護3	72	67	79	218	22	22	22	18	16	50	95	129
要介護4	15	26	22	63	19	19	153	147	136	436	888	
要介護5	13	13	19	45	26	26	260	270	260	790	1,570	
合計	145	148	159	452	78	780	58.8%	54.4%	52.3%	55.2%	56.6%	
稼働日数	26	26	260	260	260	260	57.9%	54.4%	52.3%	55.2%	56.6%	
月間定員(日数×定員)	260	260	260	260	260	260	57.9%	54.4%	52.3%	55.2%	56.6%	
利用率	55.8%	56.9%	61.2%	57.9%	54.4%	52.3%	57.9%	54.4%	52.3%	55.2%	56.6%	

延利用者数	第3四半期小計					第4四半期小計					後期計	総計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	16	21	30	67	14	8	28	50	117	197		
要介護2	33	45	37	115	41	53	59	153	268	419		
要介護3	54	62	56	172	37	37	35	109	281	714		
要介護4	22	21	19	62	20	20	23	63	125	254		
要介護5	11	17	15	43	14	14	21	49	92	187		
合計	136	166	157	459	126	132	166	424	883	1,771		
稼働日数	26	26	24	76	24	24	27	75	151	308		
月間定員(日数×定員)	260	260	240	760	240	240	270	750	1,510	3,080		
利用率	52.3%	63.8%	65.4%	60.4%	52.5%	55.0%	61.5%	56.5%	58.5%	57.5%		

認知症対応型通所介護事業利用者状況

令和5年3月31日現在

月	要支援1・2		要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0	0	4	1	13	27	40	72	0	72	4	11	15	13
5月	0	0	5	1	24	12	36	67	0	67	4	22	26	13
6月	0	0	4	11	13	11	24	18	61	79	5	17	22	19
7月	0	0	9	11	6	8	14	17	62	79	4	18	22	18
8月	0	0	8	9	6	4	10	16	66	82	5	17	22	16
9月	0	0	8	9	21	6	27	5	49	54	4	18	22	16
10月	0	0	8	8	19	14	33	0	54	54	4	18	22	11
11月	0	0	12	9	24	21	45	0	62	62	5	16	21	17
12月	0	0	22	8	21	16	37	0	56	56	2	17	19	15
1月	0	0	14	0	25	16	41	0	37	37	4	16	20	14
2月	0	0	8	0	27	26	53	0	37	37	3	16	19	13
3月	0	0	18	10	31	28	59	0	35	35	5	18	23	21
合計	0	0	120	77	230	189	419	56	658	714	49	204	253	186

支援・介護度分布状況

月	要支援1・2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0.0	0.0	3.4	27.6	49.7	10.3	9.0	100.0	100.0	100.0	9.0	8.8	100.0	100.0
5月	0.0	0.0	4.1	24.3	49.7	13.8	12.0	100.0	100.0	100.0	11.8	10.9	100.0	100.0
6月	0.0	0.0	9.4	13.1	6.8	19.9	39.7	16.2	11.8	10.9	11.8	8.1	100.0	100.0
7月	0.0	0.0	11.6	24.3	27.1	37.3	35.7	29.4	11.1	10.0	10.2	9.6	100.0	100.0
8月	0.0	0.0	12.5	27.1	23.6	32.5	28.5	21.1	12.7	12.1	11.1	11.1	100.0	100.0
9月	0.0	0.0	11.8	23.6	35.5	35.5	21.1	13.9	12.7	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
10月	0.0	0.0	12.7	23.9	40.3	40.3	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
11月	0.0	0.0	19.1	32.5	35.5	35.5	21.1	13.9	12.7	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
12月	0.0	0.0	11.1	23.6	35.5	35.5	21.1	13.9	12.7	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
1月	0.0	0.0	11.1	23.6	35.5	35.5	21.1	13.9	12.7	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
2月	0.0	0.0	6.2	40.8	28.5	28.5	21.1	13.9	12.7	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
3月	0.0	0.0	16.9	35.5	35.5	35.5	21.1	13.9	12.7	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0
平均	0.0	0.0	11.0	23.9	40.3	40.3	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	100.0	100.0

(単位:%)

通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス利用者状況

令和5年3月31日現在

区分 月	要支援 1		要支援 2		要介護度 1		要介護度 2		要介護度 3		要介護度 4		要介護度 5		合計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
4月	0	0	0	0	98	140	238	63	182	245	32	31	63	25	42	67	24	22	46	242	417	659
5月	0	0	0	0	101	129	230	35	206	241	53	32	85	21	42	63	26	29	55	236	438	674
6月	0	0	0	0	112	131	243	38	206	244	45	35	80	23	52	75	23	28	51	241	452	693
7月	0	0	0	0	108	113	221	44	200	244	42	39	81	25	54	79	22	32	54	241	438	679
8月	0	0	0	0	99	139	238	42	212	254	42	45	87	14	46	60	27	24	51	224	466	690
9月	0	0	0	0	110	137	247	38	182	220	42	64	106	27	43	70	30	30	60	247	456	703
10月	0	0	0	0	93	150	243	50	185	235	41	55	96	23	34	57	30	26	56	237	450	687
11月	0	0	0	0	93	153	246	48	164	212	43	60	103	22	34	56	28	31	59	234	442	676
12月	0	0	0	0	68	143	211	40	147	187	31	67	98	25	26	51	20	28	48	184	411	595
1月	0	0	0	0	75	123	198	37	136	173	30	65	95	20	19	39	25	29	54	187	372	559
2月	0	0	0	0	66	116	182	39	138	177	20	60	80	9	27	36	23	18	41	157	359	516
3月	0	0	0	0	75	149	224	42	156	198	24	76	100	12	35	47	23	43	66	176	459	635
合計	0	0	0	0	1,098	1,623	2,721	516	2,114	2,630	445	629	1,074	246	454	700	301	340	641	2,606	5,160	7,766

支援・介護度分布状況

(単位：%)

区分 月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0.0	0.0	36.1	37.2	9.6	10.2	7.0	100.0
5月	0.0	0.0	34.1	35.8	12.6	9.3	8.2	100.0
6月	0.0	0.0	35.1	35.2	11.5	10.8	7.4	100.0
7月	0.0	0.0	32.5	35.9	11.9	11.6	8.0	100.0
8月	0.0	0.0	34.5	36.8	12.6	8.7	7.4	100.0
9月	0.0	0.0	35.1	31.3	15.1	10.0	8.5	100.0
10月	0.0	0.0	35.4	34.2	14.0	8.3	8.2	100.0
11月	0.0	0.0	36.4	31.4	15.2	8.3	8.7	100.0
12月	0.0	0.0	35.5	31.4	16.5	8.6	8.1	100.0
1月	0.0	0.0	35.4	30.9	17.0	7.0	9.7	100.0
2月	0.0	0.0	35.3	34.3	15.5	7.0	7.9	100.0
3月	0.0	0.0	35.3	31.2	15.7	7.4	10.4	100.0
平均	0.0	0.0	35.1	33.8	13.9	8.9	8.3	100.0

総合事業・市基準通所型A 利用者状況

令和5年3月31日現在

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	4	46	0	4	5	34	9	84
5月	5	44	0	4	7	35	12	83
6月	4	39	0	2	9	32	13	73
7月	4	36	0	3	9	34	13	73
8月	5	38	0	6	9	33	14	77
9月	0	35	0	4	0	33	0	72
10月	0	37	0	3	9	30	9	70
11月	0	29	0	5	8	34	8	68
12月	0	21	0	4	5	34	5	59
1月	0	19	0	3	7	33	7	55
2月	0	26	0	5	8	39	8	70
3月	0	27	0	1	7	36	7	64
合計	22	397	0	44	83	407	105	848
								953

支援・介護度分布状況

(単位:%)

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	53.8	4.3	4.3	41.9	4.3	41.9	4.3	100.0
5月	51.6	4.2	4.2	44.2	4.2	44.2	4.2	100.0
6月	50.0	2.3	2.3	47.7	2.3	47.7	2.3	100.0
7月	46.5	3.5	3.5	50.0	3.5	50.0	3.5	100.0
8月	47.3	6.6	6.6	46.2	6.6	46.2	6.6	100.0
9月	48.6	5.6	5.6	45.8	5.6	45.8	5.6	100.0
10月	46.8	3.8	3.8	49.4	3.8	49.4	3.8	100.0
11月	38.2	6.6	6.6	55.3	6.6	55.3	6.6	100.0
12月	32.8	6.3	6.3	60.9	6.3	60.9	6.3	100.0
1月	30.6	4.8	4.8	64.5	4.8	64.5	4.8	100.0
2月	33.3	6.4	6.4	60.3	6.4	60.3	6.4	100.0
3月	38.0	1.4	1.4	60.6	1.4	60.6	1.4	100.0
平均	40.2	5.0	5.0	54.8	5.0	54.8	5.0	100.0

認知症対応型通所介護事業利用者状況

令和5年3月31日現在

区分	要支援1・2		要介護度 1		要介護度 2		要介護度 3		要介護度 4		要介護度 5		合 計								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
4月	0	0	0	4	1	5	13	27	40	0	72	72	4	11	15	0	13	13	21	124	145
5月	0	0	0	5	1	6	24	12	36	0	67	67	4	22	26	0	13	13	33	115	148
6月	0	0	0	4	11	15	13	11	24	18	61	79	5	17	22	0	19	19	40	119	159
7月	0	0	0	9	11	20	6	8	14	17	62	79	4	18	22	0	18	18	36	117	153
8月	0	0	0	8	9	17	6	4	10	16	66	82	5	17	22	0	16	16	35	112	147
9月	0	0	0	8	9	17	21	6	27	5	49	54	4	18	22	0	16	16	38	98	136
10月	0	0	0	8	8	16	19	14	33	0	54	54	4	18	22	0	11	11	31	105	136
11月	0	0	0	12	9	21	24	21	45	0	62	62	5	16	21	0	17	17	41	125	166
12月	0	0	0	22	8	30	21	16	37	0	56	56	2	17	19	0	15	15	45	112	157
1月	0	0	0	14	0	14	25	16	41	0	37	37	4	16	20	0	14	14	43	83	126
2月	0	0	0	8	0	8	27	26	53	0	37	37	3	16	19	0	13	13	38	92	130
3月	0	0	0	18	10	28	31	28	59	0	35	35	5	18	23	0	21	21	54	112	166
合 計	0	0	0	120	77	197	230	189	419	56	658	714	49	204	253	0	186	186	455	1,314	1,769

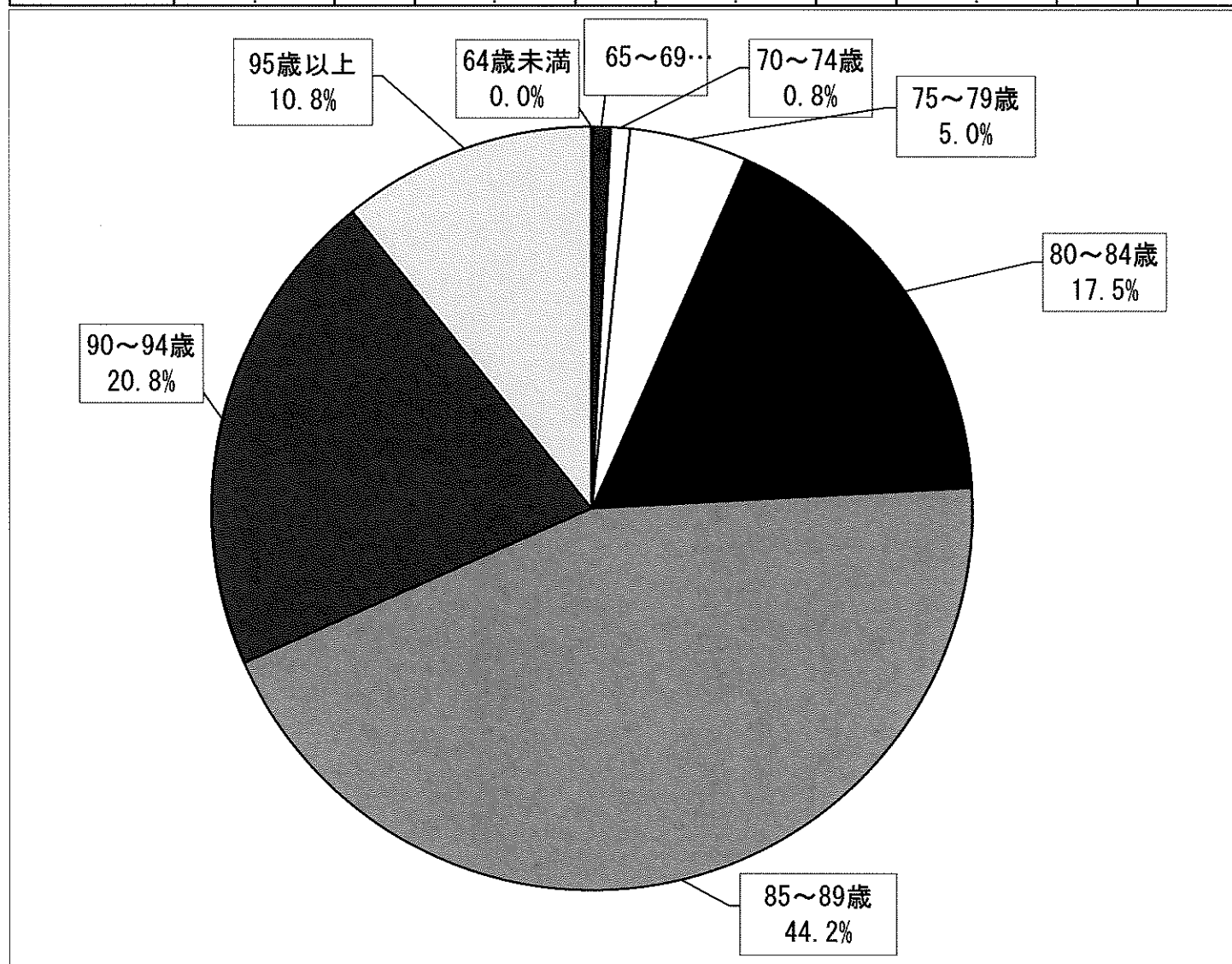
支援・介護度分布状況

区分	要支援1・2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合 計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
4月	0.0	0.0	3.4	27.6	49.7	10.3	9.0	100.0						
5月	0.0	0.0	4.1	24.3	45.3	17.6	8.8	100.0						
6月	0.0	0.0	9.4	15.1	49.7	13.8	12.0	100.0						
7月	0.0	0.0	13.1	9.2	51.6	14.4	11.8	100.0						
8月	0.0	0.0	11.6	6.8	55.8	15.0	10.9	100.0						
9月	0.0	0.0	12.5	19.9	39.7	16.2	11.8	100.0						
10月	0.0	0.0	11.8	24.3	39.7	16.2	8.1	100.0						
11月	0.0	0.0	12.7	27.1	37.3	12.7	10.2	100.0						
12月	0.0	0.0	19.1	23.6	35.7	12.1	9.6	100.0						
1月	0.0	0.0	11.1	32.5	29.4	15.9	11.1	100.0						
2月	0.0	0.0	6.2	40.8	28.5	14.6	10.0	100.0						
3月	0.0	0.0	16.9	35.5	21.1	13.9	12.7	100.0						
平均	0.0	0.0	11.0	23.9	40.3	14.4	10.5	100.0						

利用者の年齢構成

令和5年3月31日現在

事業 年齢	通所介護			総合事業			認知症対応型 通所介護			合計			構成比 %
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
64歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
65～69歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.8
70～74歳	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.8
75～79歳	3	2	5	0	1	1	0	0	0	3	3	6	5.0
80～84歳	7	7	14	0	2	2	2	3	5	9	12	21	17.5
85～89歳	8	31	39	0	6	6	2	6	8	10	43	53	44.2
90～94歳	1	18	19	0	4	4	1	1	2	2	23	25	20.8
95歳以上	4	3	7	1	0	1	1	4	5	6	7	13	10.8
合計	24	61	85	1	14	15	6	14	20	31	89	120	99.9



区分 月	実利用者数(人)				延利用者数(人)				実施日数 (日)	1日平均 利用者数 (人)	摘要					
	一般入浴		機械入浴		一般入浴		機械入浴									
	男	女	計	男	女	計	男	女				計				
4月	8	26	34	5	13	18	50	143	193	30	63	93	286	26	11.0	
5月	8	25	33	5	13	18	51	147	198	32	67	99	297	26	11.4	
6月	8	27	35	5	15	20	51	149	200	31	79	110	310	26	11.9	
7月	8	26	34	4	15	19	50	145	195	33	77	110	305	26	11.7	
8月	9	27	36	5	14	19	55	153	208	34	75	109	317	27	11.7	
9月	9	26	35	7	14	21	52	144	196	36	78	114	310	26	11.9	
10月	8	27	35	8	13	21	52	158	210	40	64	104	314	26	12.1	
11月	8	30	38	8	14	22	50	158	208	41	77	118	326	26	12.5	
12月	9	31	40	7	15	22	41	152	193	36	73	109	302	24	12.6	
1月	8	26	34	8	13	21	43	134	177	32	65	97	274	24	11.4	
2月	9	26	35	4	15	19	46	138	184	15	67	82	266	24	11.1	
3月	8	26	34	6	17	23	47	157	204	21	102	123	327	27	12.1	
合計	100	323	423	72	171	243	588	1,778	2,366	381	887	1,268	3,634	308	11.8	

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A 定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
4月	月	107	76.4	16	80.0	21	52.5	144	72.0
	火	100	71.4	15	75.0	27	67.5	142	71.0
	水	96	68.6	10	50.0	14	35.0	120	60.0
	木	115	82.1	10	50.0	20	50.0	145	72.5
	金	118	67.4	19	76.0	26	52.0	163	65.2
	土	123	70.3	23	92.0	37	74.0	183	73.2
5月	月	134	76.6	20	80.0	31	62.0	185	74.0
	火	131	74.9	18	72.0	31	62.0	180	72.0
	水	97	69.3	11	55.0	20	50.0	128	64.0
	木	116	82.9	11	55.0	15	37.5	142	71.0
	金	103	73.6	15	75.0	21	52.5	139	69.5
	土	93	66.4	20	100.0	30	75.0	143	71.5
6月	月	112	80.0	13	65.0	23	57.5	148	74.0
	火	108	77.1	16	80.0	29	72.5	153	76.5
	水	129	73.7	15	60.0	22	44.0	166	66.4
	木	147	84.0	10	40.0	28	56.0	185	74.0
	金	97	69.3	12	60.0	24	60.0	133	66.5
	土	100	71.4	20	100.0	33	82.5	153	76.5
7月	月	108	77.1	12	60.0	22	55.0	142	71.0
	火	106	75.7	18	90.0	29	72.5	153	76.5
	水	103	73.6	12	60.0	16	40.0	131	65.5
	木	113	80.7	5	25.0	22	55.0	140	70.0
	金	116	66.3	14	56.0	30	60.0	160	64.0
	土	133	76.0	25	100.0	34	68.0	192	76.8
8月	月	133	76.0	15	60.0	25	50.0	173	69.2
	火	131	74.9	18	72.0	33	66.0	182	72.8
	水	135	77.1	20	80.0	22	44.0	177	70.8
	木	103	73.6	7	35.0	19	47.5	129	64.5
	金	91	65.0	11	55.0	28	70.0	130	65.0
	土	97	69.3	20	100.0	20	50.0	137	68.5
9月	月	112	80.0	8	40.0	17	42.5	137	68.5
	火	110	78.6	14	70.0	29	72.5	153	76.5
	水	110	78.6	12	60.0	12	30.0	134	67.0
	木	143	81.7	8	32.0	23	46.0	174	69.6
	金	124	70.9	14	56.0	34	68.0	172	68.8
	土	104	74.3	16	80.0	21	52.5	141	70.5
10月	月	138	78.9	14	56.0	23	46.0	175	70.0
	火	108	77.1	13	65.0	28	70.0	149	74.5
	水	111	79.3	10	50.0	12	30.0	133	66.5
	木	109	77.9	11	55.0	20	50.0	140	70.0
	金	92	65.7	12	60.0	23	57.5	127	63.5
	土	129	73.7	19	76.0	30	60.0	178	71.2

曜日別 年間実績表

月	曜日	通所定員 35名		通所A定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
		延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
11月	月	110	78.6	12	60.0	21	52.5	143	71.5
	火	136	77.7	19	76.0	39	78.0	194	77.6
	水	135	77.1	10	40.0	24	48.0	169	67.6
	木	108	77.1	12	60.0	24	60.0	144	72.0
	金	83	59.3	11	55.0	31	77.5	125	62.5
	土	104	74.3	12	60.0	27	67.5	143	71.5
12月	月	106	75.7	13	65.0	17	42.5	136	68.0
	火	105	75.0	12	60.0	36	90.0	153	76.5
	水	103	73.6	8	40.0	18	45.0	129	64.5
	木	102	72.9	8	40.0	28	70.0	138	69.0
	金	78	55.7	11	55.0	32	80.0	121	60.5
	土	101	72.1	12	60.0	26	65.0	139	69.5
1月	月	96	68.6	15	75.0	14	35.0	125	62.5
	火	99	70.7	11	55.0	26	65.0	136	68.0
	水	102	72.9	7	35.0	21	52.5	130	65.0
	木	88	62.9	7	35.0	20	50.0	115	57.5
	金	75	53.6	10	50.0	23	57.5	108	54.0
	土	99	70.7	12	60.0	22	55.0	133	66.5
2月	月	96	68.6	16	80.0	19	47.5	131	65.5
	火	98	70.0	16	80.0	25	62.5	139	69.5
	水	86	61.4	8	40.0	20	50.0	114	57.0
	木	84	60.0	15	75.0	20	50.0	119	59.5
	金	66	47.1	11	55.0	22	55.0	99	49.5
	土	86	61.4	12	60.0	24	60.0	122	61.0
3月	月	105	75.0	14	70.0	22	55.0	141	70.5
	火	106	75.7	12	60.0	22	55.0	140	70.0
	水	124	70.9	6	24.0	29	58.0	159	63.6
	木	112	64.0	15	60.0	38	76.0	165	66.0
	金	96	54.9	12	48.0	30	60.0	138	55.2
	土	92	65.7	12	60.0	25	62.5	129	64.5
年間	月	1,357	76.0	168	65.9	255	49.8	1,780	69.7
	火	1,338	74.9	182	71.3	354	69.5	1,874	73.5
	水	1,331	73.0	129	49.5	230	43.9	1,690	64.8
	木	1,340	75.0	119	46.8	277	54.0	1,736	68.0
	金	1,139	62.4	152	58.4	324	62.5	1,615	62.0
	土	1,261	70.5	203	79.0	329	64.3	1,793	70.1

7. ホームヘルプ事業

登録ヘルパーについては、認定ヘルパー3人が合同面接会を経て新規登録となり、内2人が初任者研修を受講した。サービス提供責任者1人が新たに異動し、登録ヘルパー1人も新規採用となる。登録ヘルパー2人が家庭の事情で退職したが、全体のヘルパー人数は増加となった。

ヘルパー定例会の再開によりヘルパー同士の横のつながりも戻ってきており、感染症への不安やヘルパー自身の孤立感も軽減にもつながっている。

1	目 標	事故防止への取り組み
	評 価	<p>① 毎月の定例会のなかでヒヤリハット・事故報告の内容について共有し、各ヘルパーが様々な場面に冷静に対応できるように取り組んだ。</p> <p>② 単純な連絡ミスなどが利用者への重大事故につながるリスクを理解し、日々の業務においてもダブルチェックを実施している。来年度以降のデータ連携に備え、手順の確認を行いながら ICT 化にも対応していく。</p>
2	目 標	専門職としての知識や技術を目指す
	評 価	<p>① 毎月の定例会の中でテーマを決めて知識の取得を実施した。 「制度の理解と専門性」 「ヒートショック・インフルエンザ」 「熱中症」 「高齢者の体温と検温」 「スピーチロック」等</p> <p>② ヘルパー全員に個別研修計画を立て、研修や個人面談を実施し資質の向上に努めた。</p>
3	目 標	関係機関との連携を強化していく
	評 価	<p>① 通所介護と共同で訪問介護事業所連絡会が開催され参加した。感染症対策として連絡会自体の開催が減っていたが、対面での開催が出来るようになってきている。</p> <p>② 情報共有ツールの MCS を活用し関係事業所との連携に努めた。他事業所の介護支援専門員には毎月報告書を提出し、ヘルパーからの視点で利用状況の共有に努めた。</p>

令和4年度 ホームヘルプサービス実績報告(時間数)

目標値:7,200時間/年

延べ訪問時間	4月		5月		6月		7月		8月		9月		第2四半期小計		前期計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
身体介護	289.66	259.92	273.50	224.67	276.30	239.67	270.41	245.50	287.90	252.58	275.17	224.50	833.48	722.58	1,672.94	1,446.84
生活援助	304.50	289.67	304.00	275.00	323.10	316.17	312.00	330.30	333.80	311.77	348.58	307.75	994.38	949.82	1,925.98	1,890.66
訪問型独自	9.00	40.75	9.50	36.83	13.00	42.00	15.25	32.00	15.00	21.00	8.75	22.00	39.00	75.00	70.50	194.58
訪問型定率	60.42	78.58	72.75	67.75	73.00	60.00	77.50	59.00	91.80	60.75	85.00	61.00	254.30	180.75	460.47	387.08
保険対象外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00
計	663.58	668.92	659.75	604.25	685.40	657.84	678.16	666.80	728.50	646.10	717.50	615.25	2,121.16	1,928.15	4,132.89	3,859.16
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		第4四半期小計		後期計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
身体介護	234.17	235.30	263.42	250.90	261.75	254.67	207.58	253.83	220.67	294.40	281.33	305.25	709.58	853.48	1,468.92	1,594.35
生活援助	332.08	314.10	339.92	330.50	336.00	308.68	308.17	286.42	319.17	292.70	370.00	336.42	997.34	915.54	2,005.34	1,868.82
訪問型独自	9.00	22.00	16.25	16.00	19.75	8.00	20.00	10.00	11.00	9.50	12.75	10.25	43.75	29.75	88.75	75.75
訪問型定率	83.25	55.00	99.25	70.25	90.50	68.50	76.25	66.00	71.00	70.00	70.75	76.25	218.00	212.25	491.00	406.00
保険対象外	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	0.50	1.25	0.50	7.83	0.00	1.00	2.41	10.08	2.91	10.08	5.91
計	658.50	626.40	718.84	670.15	708.00	640.35	613.25	616.75	629.67	666.60	735.83	730.58	1,978.75	2,013.93	4,064.09	3,950.83
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		第4四半期小計		後期計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
身体介護	234.17	235.30	263.42	250.90	261.75	254.67	207.58	253.83	220.67	294.40	281.33	305.25	709.58	853.48	1,468.92	1,594.35
生活援助	332.08	314.10	339.92	330.50	336.00	308.68	308.17	286.42	319.17	292.70	370.00	336.42	997.34	915.54	2,005.34	1,868.82
訪問型独自	9.00	22.00	16.25	16.00	19.75	8.00	20.00	10.00	11.00	9.50	12.75	10.25	43.75	29.75	88.75	75.75
訪問型定率	83.25	55.00	99.25	70.25	90.50	68.50	76.25	66.00	71.00	70.00	70.75	76.25	218.00	212.25	491.00	406.00
保険対象外	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	0.50	1.25	0.50	7.83	0.00	1.00	2.41	10.08	2.91	10.08	5.91
計	658.50	626.40	718.84	670.15	708.00	640.35	613.25	616.75	629.67	666.60	735.83	730.58	1,978.75	2,013.93	4,064.09	3,950.83
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		第4四半期小計		後期計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
身体介護	234.17	235.30	263.42	250.90	261.75	254.67	207.58	253.83	220.67	294.40	281.33	305.25	709.58	853.48	1,468.92	1,594.35
生活援助	332.08	314.10	339.92	330.50	336.00	308.68	308.17	286.42	319.17	292.70	370.00	336.42	997.34	915.54	2,005.34	1,868.82
訪問型独自	9.00	22.00	16.25	16.00	19.75	8.00	20.00	10.00	11.00	9.50	12.75	10.25	43.75	29.75	88.75	75.75
訪問型定率	83.25	55.00	99.25	70.25	90.50	68.50	76.25	66.00	71.00	70.00	70.75	76.25	218.00	212.25	491.00	406.00
保険対象外	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	0.50	1.25	0.50	7.83	0.00	1.00	2.41	10.08	2.91	10.08	5.91
計	658.50	626.40	718.84	670.15	708.00	640.35	613.25	616.75	629.67	666.60	735.83	730.58	1,978.75	2,013.93	4,064.09	3,950.83
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		第4四半期小計		後期計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
身体介護	234.17	235.30	263.42	250.90	261.75	254.67	207.58	253.83	220.67	294.40	281.33	305.25	709.58	853.48	1,468.92	1,594.35
生活援助	332.08	314.10	339.92	330.50	336.00	308.68	308.17	286.42	319.17	292.70	370.00	336.42	997.34	915.54	2,005.34	1,868.82
訪問型独自	9.00	22.00	16.25	16.00	19.75	8.00	20.00	10.00	11.00	9.50	12.75	10.25	43.75	29.75	88.75	75.75
訪問型定率	83.25	55.00	99.25	70.25	90.50	68.50	76.25	66.00	71.00	70.00	70.75	76.25	218.00	212.25	491.00	406.00
保険対象外	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	0.50	1.25	0.50	7.83	0.00	1.00	2.41	10.08	2.91	10.08	5.91
計	658.50	626.40	718.84	670.15	708.00	640.35	613.25	616.75	629.67	666.60	735.83	730.58	1,978.75	2,013.93	4,064.09	3,950.83

地域包括支援センター

1. 介護予防普及啓発事業・介護予防活動推進事業

目 標	介護予防の基本的な知識と普及啓発をするための事業を実施する
評 価	<p>① 感染症対策をしながら介護予防教室を年間36回実施した。前年度より導入したオンライン参加も継続し、新たにサテライト会場での開催も実施した。</p> <p>② 老人会や地域サロンなどへ参加し、狛江市リハビリ連絡協会が作成した「こまえ体操」などを活用した介護予防の普及啓発を行った。</p> <p>③ 通所B団体の新規立ち上げはなかったが、既存の3団体の活動継続支援を行った。 自主グループとしての立ち上げ支援を行った「歩こう会」と「園芸ボランティア」は参加者も増え安定した活動に拡充してきている。</p> <p>④ 圏域の活動団体調査や継続支援を計108件実施。情報収集とネットワークづくりに取り組んでいる。</p> <p>⑤ CSWと協働で発行している圏域のコミュニティー紙「いこいの便り」を年4回発行し、介護予防に関する記事も掲載した。</p>

2. 介護予防ケアマネジメント

目 標	介護予防・日常生活支援総合事業に関する市民からの相談対応、各種案内を行い、適切なケアマネジメントを実施する
評 価	① 月190～200件のケアマネジメントを実施。ケアマネジメント以外の事業が増大する中、業務の整理やバランスが今後も課題となっている。

3. 総合相談支援事業

目 標	複雑化する高齢者の相談に対して総合的な相談機能の強化を図る
評 価	<p>① 年間延べ7,995件（実人数は5,259件）の相談に対応した。毎月約30件の新規相談にも対応した。複合的な課題を抱えたケースも増大しており、適切な支援が提供できるよう毎朝のミーティングで情報共有とケース対応を検討しながら実施した。</p> <p>② 近隣住人や民生委員から情報提供があったケースには速やかに対応している。また、地域のサロン等での相談会も実施し見守りネットワークづくりも行っている。</p> <p>③ 個別ケア会議は年間8件開催でき、支援者間での連携は強化できている。しかし、広域の地域ケア会議は開催できていないのが課題となっている。</p>

4. 権利擁護事業

目 標	高齢者自身が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活できるように支援を行う
評 価	<p>① 年間延べ177件の虐待対応を行った。疑いを含む新規の受理会議は7件（前年度2件）実施している。近隣住人や警察からの通報が増加している。毎月の定例進捗会議に参加し、ケースについて行政と市内の全包括で協議し解決に向けての方針を確認しながら対応した。</p> <p>② セルフネグレクトのケースに関して、長い期間をかけた関係性作りが重要となるので、根気強い対応を行っている。</p>

	<p>③ 成年後見制度に関する対応は年間延べ67件（実人数9人）の相談に対応した。あんしん狛江と連携を取りながら対応しているが、身寄りのない高齢者が増加しており、成年後見制度の需要も増えていることから包括での対応スキルの向上が必要となっている。</p> <p>④ 消費者被害に関する対応は、年間10件の相談に対応した。警察や狛江市消費生活センターなどと連携しながら対応を行った。周知活動の成果もあり未然に防げたケースも増えている。</p>
--	---

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

目 標	地域の介護支援専門員が、包括的・継続的なケアマネジメントを実践できるようスキルアップを支援する
評 価	<p>① 介護支援専門員からの相談は年間のべ243件の相談に対応した。支援方針の検討、助言、同行訪問等の後方支援を行った。</p> <p>② 介護支援専門員向けのステップアップ講座を動画配信方式で年2回行った。事例検討会もオンラインで年1回行った。それぞれトラブルなく実施できた。</p> <p>③ 個別ケア会議を年間8件開催した。前年開催できなかった自立支援型会議を2件開催できた。特に地方から子の住む市内に転居するケースが増え、介護予防や地域資源のサポートという目的で実施できたのはこれまでにない試みだった。</p> <p>その中から地域課題となるものを抽出、整理して生活支援体制整備協議会に提供する地域課題検討幹事会も年4回参加した。</p>

6. 在宅医療・介護連携推進事業

目 標	高齢者が安心して住みなれた地域で療養生活を送れるよう、医療と介護の切れ目のない連携体制を構築していく
評 価	<p>① 窓口の周知活動・ネットワーク構築は、コロナ禍のため積極的な対面方式での周知活動はできなかった。カンファレンスや訪問時などを活用して実施した。</p> <p>② 個別相談は年間58件の相談に対応した。市内の医療機関、訪問診療などに関する問い合わせが多かった。</p> <p>③ 地域の医療介護連携や資源に関する情報収集もコロナ禍で思うように活動ができず課題となっている。</p>

7. 認知症総合支援事業

目 標	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らす事ができるような地域づくりを目指す
評 価	<p>① 認知症連携会議へ毎回参加し認知症施策についての協議を継続している。</p> <p>② 初期集中支援チームの実働はなかったが、連携会議でケース相談をし、専門家チームからアドバイスを受けながら対応することができた。</p> <p>③ もの忘れ相談会には9件の相談があり、毎回相談会に同席し、その後の専門医への受診や介護保険サービスなど継続支援に繋げている。</p> <p>④ 介護者のためのおしゃべり会の開催 「介護者のおしゃべり会」を毎月開催した。オンライン参加もできるように環境を整備したが、オンラインでの参加実績はなかった。新規参加</p>

	<p>者の呼び込みも兼ねて年2回イベントも開催した。</p> <p>⑤ 旧認知症カフェをコロナ禍でも開催可能な形式に変更し「せせらぎのつどい」として年4回実施でき、来年度からの定期開催に向けた準備ができた。</p> <p>また、新たな取り組みとして「本人ミーティング」も試験的に開催できた。今後は定期開催を目指す。</p>
--	---

8. 家族介護支援事業

目 標	現役の介護者やこれから介護に係る世代にも役立つ知識や技術を提供する
評 価	① 「自宅で看取るといふこと～家で最期まで過ごすことを当たり前のことに～」 「おひとり様の老い支度～知っておきたい終活と備え～」のテーマで開催した。集合形式とオンラインとハイブリッド方式で開催した。

令和4年度 年間相談実績集計表

①相談区分、所属

	新規	継続	計
区分	353	7,642	7,995

	自社	委託	その他	計
所属	3,871	70	4,054	7,995

②相談形態

	電話	来所	訪問	会議	文書	FAX	その他	メール	計
相談方法	4,569	363	1,605	264	133	384	506	171	7,995

③介護度

介護保険	実数	延べ人数
支援1	1,046	1,492
支援2	1,423	2,150
要介護1	500	779
要介護2	226	368
要介護3	84	106
要介護4	89	136
要介護5	59	84
非該当	4	4
事業対象者	374	503
未申請	645	896
申請中	741	1,403
不明	68	74
計	5,259	7,995

④年齢

	実数	延べ人数
64歳以下	169	289
65～69歳	188	346
70～74歳	486	788
75～79歳	743	1,111
80～84歳	1,346	2,143
85～89歳	1,430	2,198
90歳以上	679	1,069
不明	43	51
計	5,084	7,995

⑤相談者

本人	配偶者	子供	子供の配偶者	兄妹	孫	その他家族	知人	市役所
3,278	408	903	121	34	7	59	31	591
保健所	警察	消防	民生	地域住民	医療機関	ケアマネ	サービス提供	匿名
0	8	0	35	25	471	668	1,124	0
社協	その他	地域包括	あんしん狛江	計				
59	131	31	11	7,995				

⑥申請代行（市役所）

配食サービス	0
日常生活用具	16
自立支援住宅改修(予防改修・設備改修)	1
理美容サービス	1
認知症高齢者位置情報提供サービス	4
介護用品支給他	23
あんしんS（緊急通報システム）	1
救急代理通報システム事業	11
ゴミ出しサポート事業	2
合計	59

⑦申請代行（介護保険）

介護保険（要介護・要支援）認定申請書 新規・更新・変更	416
介護(予防)サービス計画書届出書 予・居	154
住宅改修	11
福祉用具購入	0
福祉用具貸与	0
軽度者申請 福祉用具	9
介保負担限度額認定	0
高額介護	0
特別給付	0
負担限度額	0
情報提供申請書兼同意書	214
チェックリスト	21
合計	825

⑧相談内容（延べ件数・重複記載）

令和5年3月31日現在

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
総合相談	地域包括のみ	53	67	65	72	133	94	85	66	79	73	57	86	930	3,631
	その他機関	41	45	74	100	108	107	86	57	102	97	70	89	976	
	その他	105	78	116	162	162	109	137	151	155	172	170	208	1,725	
予防ケアプラン	サービス内容	152	144	175	153	186	183	123	180	216	214	117	169	2,012	3,722
	サービス担当者	29	24	39	24	40	29	35	22	26	21	23	24	336	
	その他	95	158	116	109	130	121	94	104	109	109	93	136	1,374	
虐待	措置入所の実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時避難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住宅改修	自宅訪問	2	0	4	2	0	4	4	3	0	3	6	3	31	40
	改修実施	4	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	9	
権利擁護	成年後見制度	3	5	7	8	3	3	11	5	7	5	7	3	67	354
	高齢者虐待	9	2	23	12	26	12	32	11	11	8	14	17	177	
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	困難事例	1	1	4	9	3	5	8	2	5	1	5	13	57	
	消費者被害	1	0	1	0	0	0	1	4	0	0	1	2	10	
	地域権利擁護	0	0	1	3	0	0	2	3	1	3	1	4	18	
	その他	1	0	0	0	0	2	6	1	2	2	1	10	25	
包括ケアマネジメント	CMからの相談	12	10	21	22	16	21	26	15	20	24	18	38	243	261
	関係機関	1	2	1	3	1	3	3	1	1	0	0	1	17	
	包括からの相談	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
成年後見	親族申立													0	0
	市区町村申立													0	
合計		509	537	648	680	808	693	653	626	736	732	583	803	8,008	8,008

⑨予防ケアプラン＜新規及び終了者数＞

右側カッコ内は委託数の再掲

月	区分	ケアプラン作成数	新規	終了				
				非該当	介護給付へ移行	施設入所	死去	その他
4月		196 (20)	1					1
5月		200 (18)	6 (1)		4		1	
6月		199 (17)	7		4 (1)			1
7月		195 (19)	3		4			
8月		192 (21)	14 (4)		5			1
9月		190 (21)	5 (1)		5 (1)			2
10月		192 (21)	7		4			1
11月		190 (21)	7		2			2
12月		191 (19)	7		4 (1)			1
1月		187 (19)	4 (1)		6 (1)			7 (1)
2月		192 (20)	9 (2)		4			1
3月		188 (20)	3		5			2
合計		2,312 (236)	73 (9)	0 (0)	47 (4)	0 (0)	1 (0)	19 (1)

9. 居宅介護支援事業所

1	目 標	自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを提供し、地域の高齢者が住み慣れた地域の中で、自分らしさを感じられる生活を送られるよう支援していく
	評 価	<p>① 特定事業所加算Ⅱを算定し、主任介護支援専門員2人及び介護支援専門員4人の計6人体制で運営を実施。目標の平均担当件数35件には届かず、春先の異動による増員があった影響もあり平均31.3件（前年度31.7件）となる。</p> <p>② 夜間休日のオンコール体制を継続し、認知症高齢者の不安の軽減や緊急の支援調整などを行った。</p> <p>③ 毎週の定期ミーティングで担当外の利用者への支援を共有し、担当者不在の場合にも適切な対応をとる事が出来た。また、事業所内の書類の管理や感染症対策など適時相談する事が出来た。</p> <p>④ 書類の保管や手順など業務の標準化について、適時検討し職員間の違いが生まれないよう共有している。マニュアル全体については、すべての見直しは出来ていないが、来年度以降も継続的に取り組んでいく。</p> <p>⑤ 生活環境が劣悪な高齢者への支援や、家族の協力が得られないケース、暴力行為がある要介護者など、地域包括支援センターや行政、社協などと協力をして困難ケースへの対応に努めた。</p> <p>⑥ コロナ過で業務継続を図るため、在宅ワークを取り入れ出勤や訪問が出来ない状況でも業務を行った。</p>
2	目 標	将来を見据えた人材育成に取り組む
	評 価	<p>① 動画視聴研修となった地域包括主催のケアマネステップアップ研修（年6回）やオンライン事例検討会（年3回）に参加し、職員の資質向上に努めた。また、事例検討会では主任介護支援専門2人がファシリテーターを務めた。</p> <p>② 介護支援専門員実務研修生については、令和4年8月と令和5年2月に計2人の受け入れを行ない専門職の育成・指導を行った。</p> <p>③ 主任介護支援専門員更新研修（5年毎）に1人、介護支援専門員更新研修（専門Ⅰ2人、専門Ⅱ2人）がオンライン受講し、資格の更新に必要な要件を満たした。さらに、主任介護支援専門員研修の受講要件となる年間4回以上の研修受講に派遣する事ができた。</p>
3	目 標	地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の関連団体との連携を強化していく
	評 価	<p>① オンラインで開催された狛江市介護支援専門員連絡会に参加し、職能団体の運営に携わり、狛江市内の事業所間の連携に努めた。</p> <p>② 主任介護支援専門員の連絡会には2人が参加し、オンライン事例検討会でのファシリテーターなど介護支援専門員の育成に協力した。</p> <p>③ 医療と介護の連携を図るため、MCSや同システム間のデータ連携を活用し、医療機関や介護事業所間での情報連携に努めた。</p> <p>④ 他法人との合同研修会については、コロナ過で集合して行う事が困難な状況であったが、人数制限をして実施し各事業所での伝達研修を実施した。</p>

(1) 居宅介護支援事業利用状況

令和4年度

1) 加算対象(年間延べ件数)

初回	入院時 連携Ⅰ	入院時 連携Ⅱ	退院退所 Ⅰ 1	退院退所 Ⅰ 2	退院退所 Ⅱ 1	退院退所 Ⅱ 2	退院退所 Ⅲ	通院時情 報連携加 算
75	29	6	3	0	5	0	1	1
小規模 多機能型 連携	中山間地 加算	看小多機 能連携	緊急時等 カンファ	ターミナ ル加算	特定事業 所加算Ⅱ	特定事業 所加算Ⅲ	運営基準 減算	
0	0	0	0	0	2,164	0	0	

2) 認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
0	4	6	6	6	2	1	0	0	
1月	2月	3月	合計						
0	0	1	26						

3) 自事業所利用割合

*訪問介護	*通所介護	認知症通所介護	短期入所
52.7%	46.9%	71.7%	56.3%

*特定事業所集中減算対象(一定条件のもと80%超は減算)

令和4年度 居宅介護支援事業実績

目標値:ケアマネ常勤換算一人あたり 35件

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要介護1	55	53	59	167	60	60	66	186	353
要介護2	62	66	62	190	62	60	55	177	367
要介護3	27	26	24	77	27	29	33	89	166
要介護4	25	22	22	69	20	18	18	56	125
要介護5	7	8	7	22	8	12	11	31	53
計	176	175	174	525	177	179	183	539	1,064
常勤換算/人	5.0	5.0	5.5		6.0	6.0	6.0		
一人あたり件数	35.2	35.0	31.6	33.9	29.5	29.8	30.5	29.9	31.9

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要介護1	65	66	64	195	63	67	68	198	393	746
要介護2	55	55	56	166	54	56	57	167	333	700
要介護3	34	36	38	108	35	35	32	102	210	376
要介護4	17	20	19	56	19	18	16	53	109	234
要介護5	8	8	8	24	9	12	10	31	55	108
計	179	185	185	549	180	188	183	551	1,100	2,164
常勤換算/人	6.0	6.0	6.0		6.0	6.0	6.0			
一人あたり件数	29.8	30.8	30.8	30.5	30.0	31.3	30.5	30.6	30.6	31.3

3月保留5件